

. 総合研究報告書

厚生労働科学研究費補助金（難治性疾患克服研究事業）

総合研究報告書

小児保存期慢性腎臓病患者の長期予後の解明と腎不全進行抑制の治療法の確立

研究事業期間：平成 23 年 4 月 1 日から平成 25 年 3 月 31 日まで

研究代表者 石倉 健司 東京都立小児総合医療センター 腎臓内科 医長

研究の概要

【研究目的】

本研究は、小児 CKD 患者の患者登録（レジストリ）システムを構築して小児 CKD のコホートを確立し、それに基づく年次調査、およびランダム化比較試験（RCT）を行う。それにより小児 CKD の長期予後や合併症、成人期への移行といった疾患の自然史や腎不全進行の危険因子の解明と、腎保護を目的とした治療法を確立することを目的とする。

【研究方法】

1. 小児 CKD コホートの確立と追跡調査

平成 22 年度の小児 CKD 実態調査で情報収集した小児 CKD 患者 447 名からなるコホートを確立し、長期間にわたる継続的な追跡調査を行う体制（高い回収率、連結可能匿名化を行い各施設で個人情報を厳重に管理すると同時に円滑に運用できる体制）を整備した。このコホートに対し、追跡調査を行った。また我々が作成した、本邦小児 CKD の診断基準（ステージ判定表）の有用性を評価した。

2. ランダム化比較試験（RCT）

CKD ステージ 3, 4 の小児を対象にした、ARB（バルサルタン）と球形吸着炭投与の多施設共同 RCT を開始した。対象患者数は両群 60 名計 120 名とした。治療期間は 2 年間、エントリー期間は 3 年間である。平成 23 年 10 月に研究実施計画書を完成し、研究代表者施設の倫理委員会で承認された。さらに臨床研究保険の加入、臨床試験登録（UMINID:000006917）も終了し、同 12 月から試験開始とした。

個々の研究はヘルシンキ宣言に基づく倫理的原則および各種倫理指針を遵守し、個人情報管理に万全を期して実施した。研究に関し利益相反委員会への申出を行い、研究計画書が倫理委員会で承認された後に研究を開始した。

【結果】

アジア圏で唯一となる小児 CKD 患者から構成されるコホートを確立した。コホート確立後約 2 年間のフォローアップデータを収集し（平成 24 年の回収率は 95.5%）、小児 CKD コホートの確立から現在までの、末期腎不全への進行の割合とその危険因子を明らかにする事が出来た。1 年間の腎生存率は、ステージ 3, 4, 5 それぞれ 98.2%, 79.6%, 42.9%であった。また多変量解析で、蛋白尿と高血圧が独立した疾患進行のリスク因子であった。我々の確立した本邦小児 CKD の診断基準（ステージ判定表）と Schwartz 法による eGFR との関連は良好で、カッパ係数は 0.71 であった。CKD ステージごとの身長 SD 平均値は、ステージ 3 -1.1 ± 1.3 、ステージ 4 -1.7 ± 1.7 、ステージ 5 -2.7 ± 1.8 であり、日本の健常小児と比較すると、すべてのステージにおいて明らかに身長 SD 値は低かった（すべて $p < 0.001$ ）。さらにステージの進行に伴って身長 SD 値は有意に低下した（ $p < 0.001$ ）。

また小児 CKD の治療法の確立に向け RCT の患者エントリーを開始した。平成 25 年 3 月 15 日現在、倫理委員会承認施設は 16 施設で、登録症例数は 9 例である。

【考察】

小児 CKD のコホートを確立し、短期間ではあるが末期腎不全への進行とそのリスク因子を明らかにできた。今後はこのコホートで、より長期の予後や合併症、成人期への移行といった小児 CKD の自然史や、疾患進行の危険因子を解明していくことが望まれる。またこの研究基盤を用いた、派生研究が発展していくことも期待される。国際的にも小児保存期 CKD の疫学研究は少なく、アジア圏ではこれまで全く報告されていない。欧米とは、おそらく遺伝的な背景から CKD の頻度や疾患構成が異なっていることが知られており、本邦の小児 CKD の診療を発展させていく上で、貴重なデータとなることが期待される。

【結論】

アジア圏で唯一となる小児 CKD 患者から構成されるコホートを確立し、フォローアップデータを収集し、腎予後（末期腎不全への進行）とその危険因子を明らかにすることができた。小児 CKD の治療法の確立に向け RCT のプロトコルを確定し、全国 16 施設で倫理委員会の承認も受け、患者エントリーを開始した。

【研究分担者】

本田雅敬 東京都立小児総合医療センター副院長
上村治 あいち小児保健医療総合センター
内科部 副センター長
大橋靖雄 東京大学医学系研究科 公共健康医学専攻 生物統計学分野 教授
服部元史 東京女子医科大学医学部 腎臓小児科教授
田中亮二郎 兵庫県立こども病院 腎臓内科部長
和田尚弘 静岡県立こども病院 腎臓内科医長
中西浩一 和歌山県立医科大学 小児科 講師
伊藤秀一 国立成育医療研究センター 腎臓・リウマチ・膠原病科 医長
濱崎祐子 東邦大学医療センター大森病院 小児腎臓学講座 講師

A. 研究目的

小児CKDは先天性腎尿路異常(CAKUT)を中心とした疾患であり、乳幼児期から徐々に腎機能が悪化し、成長発達に大きな影響を及ぼすなど成人のCKDとは大きく異なる。また末期腎不全に進行した場合、一生にわたる透析や複数回の腎移植が必要となり、進行抑制は特に重要である。

CAKUTとは先天的に腎臓のサイズが小さく、構造が未熟な低形成・異形成腎に多様な泌尿器科的合併症を有する疾患の総称である。大多数は原因不明で治療法は確立されていない。自然史が不明であり進行のリスク因子も解明されていない。

このような状況において、平成22年度の「本邦小児の新たな診断基準による小児慢性腎臓病(CKD)の実態把握のための調査研究(H22-難治-一般-021)」(小児CKD実態調査)では、小児CKD患者(ステージ3から5でかつ腎移植、透析患者を除外)の全国推計を実施した。この結果2010年4月1日時点の全国の小児CKD患者(ステージ3-5)は542.5人(95% CI: 497.5-587.5)、

有病率は100万人あたり29.8人と推計された。また、91.1%が非糸球体性疾患で、そのうちの68.3%がCAKUTであった。この結果は、欧米の既報告より有病率が低く、また疾患構成も異なるものであった。さらに各患者の臨床情報、各施設の小児CKDの治療方針に関しても詳細を明らかにすることができた。以上の結果はNephrology Dialysis Transplantation誌に報告した(Ishikura K, Uemura O, Ito S, Wada N, Hattori M, Ohashi Y, Hamasaki Y, Tanaka R, Nakanishi K, Kaneko T, Honda M. Pre-dialysis chronic kidney disease in children: results of a nationwide survey in Japan. Nephrology Dialysis Transplantation in press)。しかし小児CKD実態調査は単年のフェーズピリティスタディであり、今後新規発症率、生命予後、末期腎不全への進行の程度とその危険因子、合併症に関する情報の継続的集積による疾患の自然史の解明が求められる。また同研究で明らかになった各施設の治療方針の多くは小児のエビデンスがほとんど無いままに適応外使用されている薬剤を用いている。そのため正しくデザインされたランダム化比較試験(RCT)を行い、治療法の確立を行うことが強く求められる。

以上のことから本研究は、小児CKD患者の患者登録(レジストリ)システムを構築して小児CKDのコホートを確立し、それに基づく年次調査、およびRCTを行う。それにより小児CKDの長期予後や合併症、成人期への移行といった疾患の自然史や、腎不全進行の危険因子の解明と、腎保護を目的とした治療法を確立することを目的とする。

B. 研究方法

1. 小児CKDコホートの確立と追跡調査

平成22年度の小児CKD実態調査は、全国1190施設を対象に行われた。この1190施設は全ての大学病院、小児病院、小児腎臓病学会会員所属施

設 病床数 200 以上で小児科病棟を有する施設からなり、本邦のほぼ全ての小児 CKD 患者(ステージ 3 - 5) をカバーしていると考えられる。また回収率は 77.7% と良好であった。この研究により、計 447 人の小児 CKD 患者の症例情報とこれらの患者を管理する計 113 施設の治療方針等の情報を収集した。

本研究では上記の全施設と全ての該当患者を対象とした小児 CKD のコホートを確立し、長期間にわたる継続的な追跡調査を行う体制(高い回収率、連結表を各施設で厳重に管理すると同時に円滑に運用できる体制)を整備し、長期予後や合併症、成人期への移行といった小児 CKD の自然史や疾患進行の危険因子を解明することを目的とする。さらにこの体制のもとで、様々な派生研究を行っていく。

平成 23 年度は、上記 447 人を継続的に追跡する体制を確立した。[小児保存期慢性腎臓病(CKD)患者を対象とした患者登録システムの確立と長期予後の解明のための調査研究]として新たに実施計画書を作成し、倫理委員会の承認を得た。さらに同計画書に基づき、平成 23 年 10 月に第 1 回の追跡調査を行った。調査項目は、平成 22 年度の小児 CKD 実態調査で取得した基本情報(年齢、基礎疾患、血清クレアチニン値)に加え、身体計測と血圧、合併症、治療経過、長期予後(透析導入や腎移植、生命予後等)、およびその他の腎不全進行の危険因子である。

平成 24 年度は、平成 24 年 4 月に小児 CKD コホートの 2 度目の追跡調査を行った。平成 22 年度の研究で我々が作成した、本邦小児 CKD の診断基準(ステージ判定表)の有用性を評価する目的で、ステージ判定表によるステージ判定と既存の eGFR の推算式である Schwartz 法による eGFR に基づくステージ判定の比較を行った。さらに本邦の 3 歳児検尿の有効性を評価する目的で、これまで収集したデータの再解析を行い、本コホートの患者の発見動機とその年齢や、3 歳児

検尿で行われる尿蛋白定性や尿 2 マイクログロブリン検査の感度を評価した。

さらに小児 CKD の最も重要な合併症である成長障害に関しても、その現状とステージ進行との関連、成長ホルモン使用状況を解析した。

2. ランダム化比較試験(RCT)

小児 CKD 実態調査により、本邦では小児保存期 CKD 患者の腎保護作用を目的として、アンジオテンシン変換酵素阻害薬(ACEI)、アンジオテンシン受容体拮抗薬(ARB)ならびに球形吸着炭が主に使用されていることが明らかになった。さらに腎不全の重症度を目安にこれらの薬剤が使用開始されること(多くは CKD ステージ 3 から)、おおむね 1 歳以上から薬剤が使用されていることが示された。

これらの結果を受け、1 歳以上(当初は 6 歳以上から開始)の小児 CKD ステージ 3、4 の患者を対象にした、ARB のバルサルタンと球形吸着炭投与の多施設共同 RCT を立案、実施した。バルサルタンが試験薬として選択されたのは、主に肝代謝されるため腎不全患者で使用しやすいこと、米国で小児使用量が明らかにされていること、未承認薬検討会議の対象薬であったことなどからである。対象患者数は統計学的妥当性と実施可能性(小児 CKD 疫学研究で得られた対象患者数等)を勘案し両群 60 名計 120 名を予定し、治療期間は 2 年間、エントリー期間は 3 年を予定した。本試験の研究計画書は平成 20 年度の医療技術実用化総合研究(臨床研究・予防・治療技術開発研究)「小児 CKD に対する ARB による治療の確立のための臨床計画の作成」(研究代表者上村治)で作成された計画書に基づき、今回の研究結果等に基づき改編を行って作成した。

【倫理面への配慮】

1. 疫学研究(小児保存期慢性腎臓病(CKD)患者を対象とした患者登録システムの確立と長期予後の解明のための調査研究)

疫学研究に関する倫理指針を遵守し、研究計画

書は研究代表者施設の倫理審査委員会の審査を受け、承認を得た(平成23年8月)。また同指針に基づき、あらかじめ研究の実施についての情報を公開している

(www.byouin.metro.tokyo.jp/shouni/tiken/koukaigenkou/23-49doctor.pdf)。

またデータセンターで扱う患者情報はすべて匿名化情報とした。

2. RCT (保存期の小児慢性腎臓病患者を対象としたバルサルタンと球形吸着炭の腎保護効果に関するランダム化比較試験)

臨床研究に関する倫理指針を遵守し、研究計画書は研究代表者および各施設の倫理審査委員会の審査を受け、承認を得た(平成23年10月以降順次)。さらに平成23年12月、臨床試験登録を行った(UMINID:000006917)。また、患者からは研究開始前に、研究の意義、研究の不利益、人権擁護等について十分な説明の上、文書によるインフォームドコンセントを得ている。

さらに本研究はヘルシンキ宣言に基づく倫理的原則を遵守し、個人情報管理に万全を期して実施した。また研究者の所属医療機関での利益相反委員会で、研究者の利益相反管理の申出を行った。

C. 研究結果

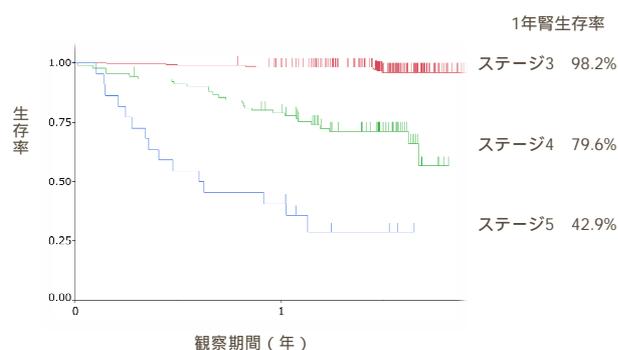
1. 疫学研究

すでに平成22年度の小児CKD実態調査で、本邦における小児CKDの有病率とCAKUTを中心とした疾患構成を明らかにする事が出来た。これらのデータを元に、今後は小児CKDに関して、CAKUTに対する診断、治療を中心に進めていく必要性が明らかになった。

続いて行われた本研究では、まず小児CKDのコホートを確立した。この研究体制は非常に高い回収率(平成24年の調査時95.5%)であり、また個人情報保護に配慮し連結可能匿名化情報を慎重に扱っており、長期間確実に調査を継続する体制が整備されている。そして、コホート確立が

ら現在までの死亡および末期腎不全への進行の割合とその危険因子を明らかにする事が出来た。コホート確立後の腎生存率は図1に示したとおりであり、小児CKD患者でも特にステージ4以上が末期腎不全のリスクであることが示された。

図1 CKD ステージごとの腎生存率



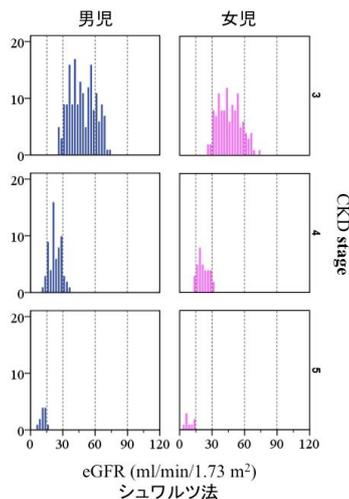
さらにCoxの比例ハザードモデルによる多変量解析では、CKDのステージの他、蛋白尿と高血圧が末期腎不全への進行のリスクであることがしめされた(表1)。

表1 末期腎不全進行のリスク因子(Coxの比例ハザードモデルによる多変量解析)

変数	HR	95% CI	P値
性			
女児 (vs. 男児)	0.99	0.45-2.18	0.98
年齢			
年齢 2-10 years (vs. 0-1)	0.48	0.13-1.78	0.27
年齢 11-15 years (vs. 0-1)	1.41	0.39-5.04	0.60
奇形症候群			
あり	2.84	1.01-7.98	0.048
CKD stage			
CKD stage 4 (vs. stage 3)	10.51	4.42-25.00	< 0.001
CKD stage 5 (vs. stage 3)	50.03	14.30-175.06	< 0.001
CAKUT			
あり	0.83	0.37-1.83	0.64
早期産 (37週未満)			
あり	1.11	0.47-2.67	0.81
蛋白尿			
あり	1.09	1.03-1.15	0.004
高血圧			
あり	2.38	1.13-5.02	0.02

我々の確立した本邦小児CKDの診断基準(ステージ判定表)とSchwartz法によるeGFRとの関連を図2に示す。カッパ係数は0.71であった。

図2 CKDステージ判定表とeGFRによるステージ分類



ステージ判定表によるステージ	シュワルツ法によるCKDステージ分類				Total
	2	3	4	5	
男児					
3	35 (19.7%)	135 (75.8%)	8 (4.5%)	0 (0%)	178 (100.0%)
4	0 (0.0%)	6 (9.5%)	53 (84.1%)	4 (6.3%)	63 (100.0%)
5	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (8.3%)	11 (91.7%)	12 (100.0%)
女児					
3	13 (11.2%)	99 (85.3%)	4 (3.4%)	0 (0.0%)	116 (100.0%)
4	0 (0.0%)	2 (5.7%)	30 (85.7%)	3 (8.6%)	35 (100.0%)
5	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	8 (100.0%)	8 (100.0%)

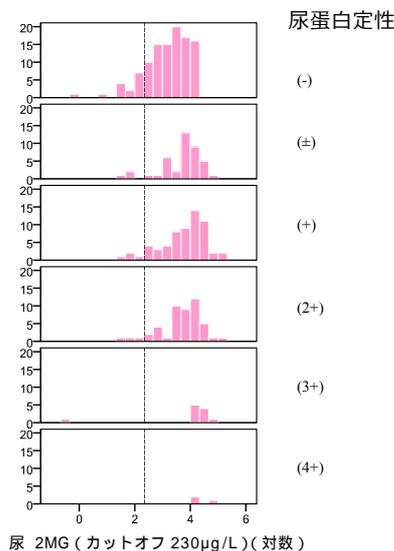
本コホートでは、3歳児検尿を契機にCKDを発見されたのは、447人中19人であった。特に本来出生時から異常があるCAKUTの患者で、3歳児検尿で発見されたのは278人中10人であった(表2)。

表2 小児CKD患者の発見動機と年齢

発見動機	CAKUT	発見時年齢		CAKUT以外	発見時年齢	
		中央値	範囲		中央値	範囲
胎児エコー/新生児エコー	88(31.7)	0.0	0.0-0.0	19(11.2)	0.0	0.0-0.0
偶然	38(13.7)	3.9	1.2-6.1	32(18.9)	5.8	1.7-9.4
尿路感染症	38(13.7)	0.7	0.3-2.0	4(2.4)	1.8	0.3-3.6
学校検尿	27(9.7)	8.9	7.0-10.3	12(7.1)	8.3	7.1-10.9
新生児期での血液検査	25(9.0)	0.0	0.0-0.1	31(18.3)	0.0	0.0-0.0
成長障害、体重減少、倦怠感	25(9.0)	0.3	0.1-1.7	7(4.1)	2.2	0.2-12.3
3歳児検尿	9(3.2)	3.2	3.0-3.4	7(4.1)	3.1	3.0-3.6
定期健診	7(2.5)	0.3	0.1-1.7	4(2.4)	2.8	0.4-5.1
浮腫、乏尿、肉眼的血尿	5(1.8)	3.8	1.0-5.0	13(7.7)	5.3	2.7-8.7
奇形、症候群	3(1.1)	0.0	0.0-0.1	1(0.6)	1.7	1.7-1.7
心疾患、悪性腫瘍の治療中	2(0.7)	5.3	5.3-5.3	18(10.7)	3.2	0.2-8.2
神経因性膀胱、夜尿症など	2(0.7)	4.9	4.9-4.9	4(2.4)	5.7	1.2-9.5
の排尿障害						
家族歴	0(0.0)			3(1.8)	6.2	4.5-9.7
敗血症	0(0.0)			3(1.8)	0.0	0.0-0.1
その他	0(0.0)			2(1.2)	2.2	0.8-3.7
不明	9(3.2)			9(5.3)		

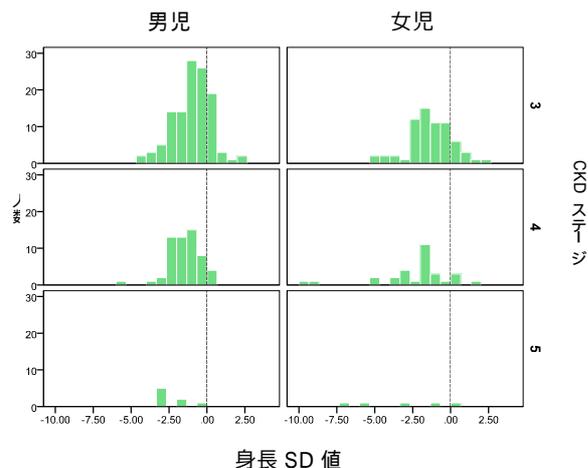
さらに図3に示したように、最終的にCKDとして発見された患者には蛋白尿陰性または±の患者が多く含まれ、蛋白尿を中心とした検尿は感度が低い。一方図の通り尿β2マイクログロブリン(β2MG)は、非常に感度が高く、尿β2MGのカットオフ値を230μg/Lとすると、蛋白尿が陰性である患者の85.2%が陽性(異常値)であることが示された。この結果は今後有効な3歳児検尿のありかたを検討していく上で、きわめて重要である。

図3 尿蛋白定性と尿β2MG値の関係



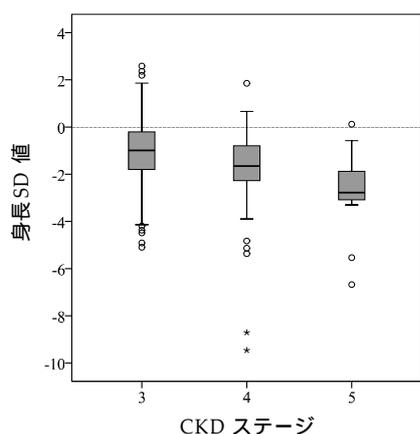
身長 SD 値は、男女ともにステージ 3 の段階から多くの症例が平均以下であった（図 4）。

図 4 身長 SD の分布



CKD ステージごとの身長 SD 平均値は、ステージ 3 -1.1 ± 1.3 、ステージ 4 -1.7 ± 1.7 、ステージ 5 -2.7 ± 1.8 であり、日本の健常小児と比較すると、すべてのステージにおいて明らかに身長 SD 値は低かった（すべて $p < 0.001$ ）。また、CKD ステージの進行に伴って、身長 SD 値は有意に低下した（図 5、 $p < 0.001$ ）。

図 5 CKD ステージと身長 SD の低下



原疾患別で見ると、CAKUT 群は CKD ステージの進行に伴って、身長 SD が有意に低下した（ $p < 0.001$ ）が、CAKUT 以外の疾患群では、低

下傾向はあるものの有意ではなかった（ $p = 0.13$ ）。さらに在胎週数では、37 週未満の群では CKD ステージの進行に伴って、身長 SD が有意に低下した（ $p < 0.001$ ）が、37 週以上の群では、低下傾向はあるものの有意差はなかった（ $p = 0.07$ ）。発症年齢においては、一定の傾向を得られなかった。

成長ホルモンの使用状況は、ステージ 3 11/184 人（6.0%）、ステージ 4 20/87 人（23.0%）、ステージ 5 4/13 人（30.8%）であった。

2. RCT

平成 23 年 10 月に「保存期の小児慢性腎臓病患者を対象としたバルサルタンと球形吸着炭の腎保護効果に関するランダム化比較試験」の研究実施計画書を完成し、研究代表者施設（東京都立小児総合医療センター）の倫理委員会で承認された。さらに臨床研究保険の加入、臨床試験登録（UMINID:000006917）も終了し、同 12 月から試験開始とした。12 月 22 日に第一例の患者がエントリーしている。しかし平成 24 年 2 月に、バルサルタンの小児の用法・用量が公知申請されたことに伴い、3 月にバルサルタンの投与量上限の見直しのため、実施計画書の改訂を行った（第 2 版）。この改定では、同時に併用療法時の注意事項の追加、腎不全の合併症評価のための検査項目の追加を行った。

平成 25 年 1 月末現在、倫理委員会承認施設は 16 施設で、登録症例数は 9 例である。

D. 考察

小児 CKD のコホートを確立し、短期間ではあるが末期腎不全への進行とそのリスク因子を明らかにできた。また重要な合併症である低身長の実態を明らかにすることが出来た。今後はこのコホートで、より長期の予後や合併症、成人期への移行といった小児 CKD の自然史や、疾患進行の危険因子を解明していくことが望まれる。また現状の 3 歳児検尿は CAKUT に対する感度が低い

ことが示唆される。

この研究基盤を用いた派生研究が進展していくことも期待される。すでに本コホートをを用いたケースコントロール研究である「早産低出生体重児と慢性腎臓病の関連についての検討」が行われている。

国際的にも小児保存期CKDの疫学研究は少なく、アジア圏ではこれまで全く報告されていない。欧米とは、おそらく遺伝的な背景からCKDの頻度や疾患構成が異なっていることが知られており、本邦の小児CKDの診療を進展させていく上で、貴重なデータとなることが期待される。

E. 結論

アジア圏で唯一となる小児CKD患者から構成されるコホートを確立した。コホート確立後約2年間のフォローアップデータを収集し、腎予後（末期腎不全への進行）とその危険因子、合併症を明らかにすることができた。また小児CKDの治療法の確立に向けRCTのプロトコルを確定し、全国16施設で倫理委員会の承認も受け、患者エントリーを開始し現在9人がエントリーしている。

F. 健康危険情報

なし

G. 研究成果の公表

1. 論文発表

1) Ishikura K, Uemura O, Ito S, Wada N, Hattori M, Ohashi Y, Hamasaki Y, Tanaka R, Nakanishi K, Kaneko T, Honda M; on behalf of The Pediatric CKD Study Group in Japan in conjunction with the Committee of Measures for Pediatric CKD of the Japanese Society of Pediatric Nephrology: Pre-dialysis chronic kidney disease in children: results of a

nationwide survey in Japan. *Nephrol Dial Transplant* (in press)

2) Ishikura K, Hamasaki Y, Sakai T, Hataya H, Mak RH, Honda M. Posterior reversible encephalopathy syndrome in children with kidney diseases. *Pediatr Nephrol* 2012; 27: 375-384

3) Ishikura K, Yoshikawa N, Nakazato H, Sasaki S, Iijima K, Nakanishi K, Matsuyama T, Ito S, Yata N, Ando T, Honda M. for the Japanese Study Group of Renal Disease in Children. Two-Year Follow-Up of a Prospective Clinical Trial of Cyclosporine for Frequently Relapsing Nephrotic Syndrome in Children. *Clin J Am Soc Nephrol* 2012; 7: 1576-1583

4) Ishikura K, Hamasaki Y, Sakai T, Hataya H, Goto T, Miyama S, Kono T, Honda M. Children with posterior reversible encephalopathy syndrome associated with atypical diffusion-weighted imaging and apparent diffusion coefficient. *Clin Exp Nephrol* 2011; 15(2): 275-80

5) Uemura O, Honda M, Matsuyama T, Ishikura K, Hataya H, Nagai T, Ikezumi Y, Fujita N, Ito S, Iijima K. The Japanese Society for Pediatric Nephrology, the Committee of Measures for Pediatric CKD. Is the new Schwartz equation derived from serum creatinine and body length suitable for evaluation of renal function in Japanese children? *Eur J Pediatr* 2012; 171: 1401-1404

6) Uemura O, Honda M, Matsuyama T, Ishikura K, Hataya H, Yata N, Nagai T, Ikezumi Y, Fujita N, Ito S, Iijima K, Kitagawa T. Age, gender, and body length effects on reference serum creatinine levels determined by an enzymatic method in Japanese children: a

multicenter study. *Clin Exp Nephrol* 2011; 15(5): 694-9

7) Uemura O, Ushijima K, Nagai T, Yamada T, Yamakawa S, Hibi Y, Hayakawa H, Nabeta Y, Shinkai Y, Koike K, Kuwabara M. Measurements of serum cystatin C concentrations underestimate renal dysfunction in pediatric patients with chronic kidney disease. *Clin Exp Nephrol*. 2011; 15: 535-8.

8) Ito S, Kamei K, Ogura M, Udagawa T, Fujinaga S, Saito M, Sako M, Iijima K. Survey of rituximab treatment for childhood-onset refractory nephrotic syndrome. *Pediatr Nephrol*. 2012:Oct [in press]

9) Ito S. Disease Course in Steroid Sensitive Nephrotic Syndrome. *Ind J pediatri*. 2012 49:868-9

10) Ito S, Ikeda H, harada T, Kamei K, Takahashi E. Cyclophosphamide followed by Mizoribine as maintenance therapy against refractory steroid dependent nephrotic syndrome. *Pediatr Nephrol*, 2011 , 26:1921-2

11) Ito S, Kamei K, Ogura M, Sato M, Fujimaru T, Ishikawa T, Udagawa T, Iijima K. Maintenance therapy with MMF after rituximab in pediatric patients with steroid-dependent nephrotic syndrome. *Pediatr Nephrol*. 2011, 26:1823-8

12) Hattori M, Akioka Y, Komatsu Y, Hisano M, Ashida A, Matsunaga A, Fujinaga S, Nagai T, Uemura O, Nakakura H, Kamei K, Ito S, Yamada T, Goto Y, Ota T, Itami N: Darbepoetin alfa for the treatment of anemia in children undergoing peritoneal dialysis: a multicenter prospective study in Japan. *Clinical and Experimental Nephrology*
DOI:10.1007/s10157-012-0714-3

13) Ohashi Y, Watanabe T, Sano M, Koyama H, et al. Efficacy of Oral Tegafur-Uracil(UFT) as Therapy as Compared with Classical Cyclophosphamide, Methotrexate, and 5-Fluorouracil(CMF) in Early Breast Cancer: a Pooled Analysis of Two Randomized Controlled Trials(N-SAS-BC 01 Trial and CUBC Trial). *Breast Cancer Res. Treat*, 2009

14) Hamasaki Y, Yoshikawa N, Nakazato H, Sasaki S, Iijima K, Nakanishi K, Matsuyama T, Ishikura K, Ito S, Kaneko T, Honda M. Prospective 5-year follow-up of cyclosporine treatment in children with steroid-resistat nephrosis. *Pediatr Nephrol* in press

15) Nakanishi K, Iijima K, Ishikura K, Hataya H, Nakazato H, Sasaki S, Honda M, Yoshikawa N, for Japanese Study Group of Renal Disease in Children. Two-year outcome of the ISKDC regimen and frequent-relapsing risk in children with idiopathic nephrotic syndrome. *Clin J Am Soc Nephrol* (in press)

16) Sato M, Ito S, Ogura M, Kamei K, Miyairi I, Miyata I, Higuchi M, Matsuoka K : Atypical Pneumocystis jiroveci pneumonia with multiple nodular granulomas after rituximab for refractory nephrotic syndrome. *Pediatr Nephrol*. 2013 ;28:145-149

17) Hama T, Nakanishi K, Mukaiyama H, Shima Y, Togawa H, Sako M, Nozu K, Iijima K, Yoshikawa N. Endoplasmic reticulum stress with low-dose cyclosporine in frequently relapsing nephrotic syndrome. *Pediatr Nephrol*. 2013 Jan 15. [Epub ahead of print]

18) Ikezumi Y, Honda M, Matsuyama T, Ishikura K, Hataya H, Yata N, Nagai T, Fujita N, Ito S, Iijima K, Kaneko T, Uemura O. Establishment of a normal reference value for serum β_2 microglobulin in Japanese children:

reevaluation of its clinical usefulness. *Clin Exp Nephrol*. 2012 Jul 14. [inpress]

19) Ishida K, Fukao M, Watanabe H, Taguchi M, Miyawaki T, Matsukura H, Uemura O, Zhang Z, Unadkat JD, Hashimoto Y. Effect of salt intake on bioavailability of mizoribine in healthy Japanese males. *Drug Metab Pharmacokinet*. 2012 Jul 17. [Epub ahead of print]

20) Nagaoka Y, Ishikura K, Hamada R, Miyagawa T, Kono T, Sakai T, Hamasaki Y, Hataya H, Honda M. Severe posterior reversible encephalopathy syndrome rescued with craniotomy. *Pediatr Int* , in press.

21) Shishido S, Satou H, Muramatsu M, Hamasaki Y, Ishikura K, Hataya H, Honda M, Asanuma H, Aikawa A. Combination of pulse methylprednisolone infusions with cyclosporine-based immunosuppression is safe and effective to treat recurrent focal segmental glomerulosclerosis after pediatric kidney transplantation. *Clin Transplant* 2012 in press

22) Tsurusaki Y, Kobayashi Y, Hisano M, Ito S, Doi H, Nakashima M, Saitsu H, Matsumoto N, Miyake N. The diagnostic utility of exome sequencing in Joubert syndrome and related disorders. *J Hum Genet*. 2012 Oct 4. doi: 10.1038/jhg.2012.117. [in press]

23) Chikamoto H, Hattori M, Kuroda N, Kajihō Y, Matsumura H, Fujii H, Ishiduka K, Hisano M, Akioka Y, Nozu K, Kaito H, Shimizu M: Pretransplantation combined therapy with plasmapheresis and rituximab in a second living-related kidney transplant pediatric recipient with a very high risk for focal segmental glomerulosclerosis recurrence. *Pediatr Transplantation* 16 : 2012; E286-E290

24) Chikamoto H, Sugawara N, Akioka Y, Shimizu T, Horita S, Honda K, Moriyama T, Koike J, Yamaguchi Y, Hattori M : Immunohistological study of a pediatric patient with plasma cell-rich acute rejection. *Clinical Transplantation* 26(supplement 24):2012;54-57

25) Hama T, Nakanishi K, Shima Y, Mukaiyama H, Togawa H, Tanaka R, Hamahira K, Kaito H, Iijima K, Yoshikawa N. Renal biopsy criterion in children with asymptomatic constant isolated proteinuria. *Nephrol Dial Transplant*. 2012;27:3186-90

26) Harada T, Ito S, Mori M, Yokota S. Anatomical condition mimicking superior mesenteric artery syndrome might cause duodenal involvement in Henoch-Schönlein purpura. *Pediatr Int*. 2012;54:579.

27) Hashimura Y, Kaito H, Nozu K, Shima Y, Nakanishi K, Iijima K, Yoshikawa N. Two cases of atypical membranoproliferative glomerulonephritis showing opposite clinical course. *CEN Case Rep* 2012;1:34-38 DOI 10.1007/s13730-012-0009-2 Published online: 10 April 2012.

28) Iijima K, Someya T, Ito S, Nozu K, Nakanishi K, Matsuoka K, Ohashi H, Nagata M, Kamei K, Sasaki S. Focal segmental glomerulosclerosis in patients with complete deletion of one WT1 allele. *Pediatrics*. 2012;129:e1621-5.

29) Kajihō Y, Harita Y, Kurihara H, Horita S, Matsunaga A, Tsurumi H, Kanda S, Sugawara N, Miura K, Sekine T, Hattori S, Hattori M, Igarashi T: SIRP interacts with nephrin at the podocyte slit diaphragm. *The FEBS journal* ,2012;279:3010-3021

30) Konno K, Nakanishi K, Hishikawa S, Tanaka H, Yoshikawa N, Yasuda Y, Kobayashi

E, Lefor A. Cryo-preserved porcine kidneys are feasible for teaching and training renal biopsy: "the bento kidney" Transplantation Research 2012;1:5. doi:10.1186/2047-1440-1-5 Published online: 2 May 2012.

31) Motoyama O, Hasegawa A, Aikawa A, Shishido S, Honda M, Tsuzuki K, Kinukawa T, Hattori M, Ogawa O, Yanagihara T, Saito K, Takahashi K, Ohshima S. Final height in a prospective trial of late steroid withdrawal after pediatric renal transplantation treated with cyclosporine and mizoribine. *Pediatr Transplant* 2012; 16: 78-82

32) Noda S, Oura M, Udagawa T, Kamei K, Matsuoka K, Kitamura H, Atsumi T, Ito S. Thrombotic microangiopathy due to antiphospholipid syndrome with positive anti phosphatidylserine-prothrombin complex antibody. *Pediatr Nephrol* 2012;27:681-5.

33) Ohtsubo H, Morisada N, Kaito H, Nagatani K, Nakanishi K, Iijima K. Alport-like glomerular basement membrane changes with renal-coloboma syndrome. *Pediatr Nephrol*. 2012;27:1189-92

34) Sakamoto S, Kasahara M, Fukuda A, Tanaka H, Kakiuchi T, Karaki C, Kanazawa H, Kamei K, Ito S, Nakazawa A: Pediatric liver-kidney transplantation for hepatorenal fibrocystic disease from a living donor. *Pediatr Transplant*. 2012 ; 16 : 99-102

35) Shima Y, Nakanishi K, Hama T, Mukaiyama H, Togawa H, Hashimura Y, Kaito H, Sako M, Iijima K, Yoshikawa N. Validity of the Oxford classification of IgA nephropathy in children. *Pediatr Nephrol*. 2012;27:783-92

36) Shima Y, Nakanishi K, Hama T, Mukaiyama H, Togawa H, Sako M, Kaito H, Nozu K, Tanaka R, Iijima K, Yoshikawa N.

Spontaneous remission in children with IgA nephropathy. *Pediatr Nephrol*. 2012;28:71-76

37) Udagawa T, Kamei K, Ogura M, Tsutsumi A, Noda S, Kasahara M, Fukuda A, Sakamoto S, Shigeta S, Tanaka H, Kuroda T, Matsuoka K, Nakazawa A, Nagai T, Uemura O, Ito S. Sequential liver-kidney transplantation in a boy with congenital hepatic fibrosis and nephronophthisis from a living donor. *Pediatr Transplant*. 2012; 16: E275-80.

38) Ushijima K, Uemura O, Yamada T. Age effect on whole blood cyclosporine concentrations following oral administration in children with nephrotic syndrome. *Eur J Pediatr*. 2012; 171: 663-8.

39) Yokoyama H, Sugiyama H, Sato H, Taguchi T, Nagata M, Matsuo S, Makino H, Watanabe T, Saito T, Kiyohara Y, Nishi S, Iida H, Kunio M, Fukatsu A, Sasaki T, Tsuruya K, Kohda Y, Higuchi M, Kiyomoto H, Goto S, Hattori M, Hataya H, Kagami S, Yoshikawa N, Fukasawa Y, Ueda Y, Kitamura H, Shimizu A, Oka K, Nakagawa N, Ito T, Uchida S, Furuichi K, Nakaya I, Umemura S, Hiromura K, Yoshimura M, Hirawa N, Shigematsu T, Fukagawa M, Hiramatsu M, Terada Y, Uemura O, Kawata T, Matsunaga A, Kuroki A, Mori Y, Mitsuiki K, Yoshida H: Renal disease in the elderly and the very elderly Japanese: analysis of the Japan Renal Biopsy Registry (J-RBR). *Clinical and Experimental Nephrology* ,2012; 16:903-920

40) Harada T, Ito S, Sasaki T, Kunisaki R, Shiojima H, Ogawa M, Yokota S. GI involvement of sigmoid mucosal erosion in a 13-year-old girl with microscopic polyangiitis. *Gastrointest Endosc*. 2011, 74:937-9

41) Harada T, Kaneko T, Ito S, Hataya H, Nariai A, Mori M, Yokota S. Superior mesenteric

artery syndrome : risk factor for duodenal involvement in Henoch-Schönlein purpura. *Pediatr Int.* 2011, 53:630-3

42) Honda K, Horita S, Toki D, Taneda S, Nitta K, Hattori M, Tanabe K, Teraoka S, Yamaguchi Y: De novo membranous nephropathy and antibody-mediated rejection in transplanted kidney. *Clinical Transplantation*, 2011; 25 : 191-200

43) Ishida K, Kaneda H, Uemura O, Ushijima K, Ohta K, Goto Y, Satomura K, Shimizu M, Fujieda M, Morooka M, Yamada T, Yamada M, Wada N, Takaai M, Hashimoto Y. Evaluation of limited sampling designs to estimate maximal concentration and area under the curve of mizoribine in pediatric patients with renal disease. *Drug Metab Pharmacokinet.* 2011; 26: 71-8.

44) Ishihara M, Tanaka E, Sato T, Chikamoto H, Hisano M, Akiok Y, Dohno S, Maeda A, Hattori M, Wakiguchi H, Fujieda M : Epstein-Barr virus load for early detection of lymphoproliferative disorder in pediatric renal transplant recipients. *Clinical Nephrology*,2011; 76 : 40-48

45) Kamei K, Ito S, Shigeta T, Sakamoto S, Fukuda A, Horikawa R, Saito O, Muguruma T, Nakagawa S, Iijima K, Kasahara M. Preoperative dialysis for liver transplantation of methylmalonic acidemia. *Ther Apher Dial*,2011, 15:488-92

46) Kamei K, Nakanishi K, Ito S, Saito M, Sako M, Ishikura K, Hataya H, Honda M, Iijima K, Yoshikawa N; for the Japanese Pediatric IgA Nephropathy Treatment Study Group. Long-Term Results of a Randomized Controlled Trial in Childhood IgA Nephropathy. *Clin J Am Soc Nephrol.* 2011 Jun;6(6):1301-7.

47) Kawasaki R, Tanaka S, Ohashi Y, et al. Incidence and Progression of Diabetic Retinopathy in Japanese Adults with Type 2 Diabetes: 8 Year Follow-up Study of the Japan Diabetes Complications Study (JDCS). *Diabetologia*, 2011, 54: 2288-2294

48) Kobayashi I, Kubota M, Yamaada M, Tanaka H, Ito S, Sasahara Y, Whitesell L, Ariga T. Autoantibodies to villin occur frequently in IPEX, a severe immune dysregulation, syndrome caused by mutation of FOXP3. *Clinical Immunology*, 2011, 141:83-9

49) Kodama S, Saito K, Ohashi Y, et al. Alcohol Consumption and Risk of Atrial Fibrillation. *Journal of the American College of Cardiology*, 2011, 57(4): 427-436

50) Kodama S, Saito K, Tanaka S, Ohashi Y, et al. Cardiorespiratory Fitness as a Quantitative Predictor of All-Cause Mortality and Cardiovascular Events in Healthy Men and Women: A Meta-analysis. *JAMA*, 2009, 301(19): 2024-2035

51) Kondo-Endo K, Nakagawa H, Katsunuma T, Ohashi Y, et al. Development and Validation of a Questionnaire Measuring Quality of Life in Primary Caregivers of Children with Atopic Dermatitis (QPCAD). *British Journal of Dermatology*, 2009, 161: 617-625

52) Matsumoto T, Hagino H, Shiraki M, Ohashi Y, et al. Effect of Daily Oral Minodronate on Vertebral Fractures in Japanese Postmenopausal Women with Established Osteoporosis: a Randomized Placebo-Controlled Double-Blind Study. *Osteoporos. Int*, 2009, 20: 1429-1437

53) Mieno M, Yamaguchi T, Ohashi Y. Alternative Statistical Methods for Estimating Efficacy of Interferon Beta-1b for Multiple

Sclerosis Clinical Trials. BMC Medical Research Methodology, 2011, 11: 80

54) Miura K, Nakagawa H, Harada A, Ohashi Y, et al. Four Blood Indexes and the Risk of Stroke and Myocardial Infarction in Japanese Men and Women A Meta-Analysis of 16 Cohort Studies. Circulation, 2009, 119: 1892-1898

55) Nakaseko H, Uemura O, Nagai T, Yamakawa S, Hibi Y, Yamasaki Y, Yamamoto M. High prevalence of sinusitis in children with henoch-schönlein purpura. Int J Pediatr. 2011; Epub 2011 Oct 2.

56) Ninchoji T, Kaito H, Nozu K, Hashimura Y, Kanda K, Kamioka I, Shima Y, Hamahira K, Nakanishi K, Tanaka R, Yoshikawa N, Iijima K, Matsuo M. Treatment strategies for Henoch-Schonlein purpura nephritis by histological and clinical severity. Pediatr Nephrol. 2011. 26:563-569

57) Okada K, Matsuo F, Uno S, Ohashi Y, et al. Effectiveness of An Acellular Pertussis Vaccine in Japanese Children During A Non-Epidemic Period: A Matched Case-Control Study. Epidemiology and Infection, 2009, 137: 124-130

58) Otsubo K, Kanegane H, Kamachi Y, Kobayashi I, Tsuge I, Imaizumi M, Sasahara Y, Hayakawa A, Nozu K, Iijima K, Ito S, Horikawa R, Nagai Y, Takatsu K, Mori H, Ochs H, Miyawaki T. Identification of FOXP3-negative regulatory T-like CD(4)+CD25(+)+CD127(low) cells in patients with immune dysregulation. polyendocrinopathy, enteropathy, X-linked syndrome. 2011, 141:111-20

59) Sasako M, Sakuramoto S, Ohashi Y, et al. Five-Year Outcomes of A Randomized Phase Trial Comparing Adjuvant Chemotherapy With S-1 Versus Surgery Alone in Stage or

Gastric Cancer. Journal of Clinical Oncology, 2011, 29

60) Shima Y, Nakanishi K, Hama T, Mukaiyama H, Togawa H, Hashimura Y, Kaito H, Sako M, Iijima K, Yoshikawa N. Validity of the Oxford classification of IgA nephropathy in children. Pediatr Nephrol. 2011 Dec 2. [Epub ahead of print]

61) Shima Y, Nakanishi K, Kamei K, Togawa H, Nozu K, Tanaka R, Sasaki S, Iijima K, Yoshikawa N. Disappearance of glomerular IgA deposits in childhood IgA nephropathy showing diffuse mesangial proliferation after 2 years of combination/prednisolone therapy. Nephrol Dial Transplant. 2011. 26:163-169

62) Shima Y, Nozu K, Nozu Y, Togawa H, Kaito H, Matsuo M, Iijima K, Nakanishi K, Yoshikawa N. Recurrent EIARF and PRES with Severe Renal Hypouricemia by Compound Heterozygous SLC2A9 Mutation Pediatrics. 2011 Jun;127(6):e1621-5.

63) Shinohara Y, Katayama Y, Ohashi Y, et al. Cilostazol for Prevention of Secondary Stroke(CSPS 2):An Aspirin-Controlled, Double-Blind, Randomized Non-Inferiority Trial. The Lancet Neurology, 2010, 9: 959-968

64) Shiraki M, Kuroda T, Ohashi Y, et al. Design of A Pragmatic Approach to Evaluate The Effectiveness of Concurrent Treatment for The Prevention of Osteoporotic Fractures. (Rationale, Aims and Organization of a Japanese Osteoporosis Intervention Trial(JOINT) Initiated by the Research Group of Adequate Treatment of Osteoporosis(A-TOP)) Journal of Bone Mineral Metabolic, 2011, 29: 37-43

65) Shirowa T, Fukuda T, Ohashi Y, et al. Comparison of EQ-5D Scores among Anthracycline-Containing Regimens Followed

- by Taxane and Taxane-Only Regimens for Node-Positive Breast Cancer Patients after Surgery: The N-SAS BC 02 Trial. *Value in Health*, 2011, 14: 746-751
- 66) Sone H, Tanaka S, Ohashi Y, et al. Long-term Lifestyle Intervention Lowers the Incidence of Stroke in Japanese Patients with Type 2 Diabetes: a Nationwide Multicentre Randomised Controlled Trial (the Japan Diabetes Complications Study). *Diabetologia*, 2010, 07 January
- 67) Sugiyama H, Yokoyama H, Sato H, Saito T, Kohda Y, Nishi S, Tsuruya K, Kiyomoto H, Iida H, Sasaki T, Higuchi M, Hattori M, Oka K, Kagami S, Nagata M, Kawamura T, Honda M, Fukasawa Y, Fukatsu A, Morozumi K, Yoshikawa N, Yuzawa Y, Matsuo S, Kiyohara Y, Joh K, Taguchi T, Makino H : Japan Renal Biopsy Registry: the first nationwide, web-based, and prospective registry system of renal biopsies in Japan. *Clinical and Experimental Nephrology*, 2011; 15:493-503
- 68) Taguri M, Matsuyama Y, Ohashi Y, et al. A Hierarchical Regression Model for Dietary Data Adjusting for Covariates Measurement Error by Regression Calibration: An Application to a Large Prospective Study for Diabetic Complications. *Japanese Journal of Biometrics*, 2010, 31(2): 49-62
- 69) Takeuchi A, Matsuyama Y, Ohashi Y, et al. Monte Carlo Sensitivity Analysis for Adjusting Multiple-bias in the Longitudinal Cardiovascular Study. *Japanese Journal of Biometrics*, 2010, 31(2): 63-76
- 70) Tanaka E, Sato T, Ishihara M, Tsutsumi Y, Hisano M, Chikamoto H, Akiok Y, Dohno S, Maeda A, Hattori M, Wakiguchi H, Fujieda M : Asymptomatic high Epstein-Barr viral load carriage in pediatric renal transplant recipient. *Pediatric Transplantation*, 2011; 15 : 306-313
- 71) Wakaki H, Ishikura K, Hataya H, Hamasaki Y, Sakai T, Yata N, Kaneko T, Honda M. Henoch-Schonlein purpura nephritis with nephrotic state in children: predictors of poor outcomes. *Pediatr Nephrol* 2011; 26(6): 921-5
- 72) Wakaki H, Ishikura K. Henoch-Schonlein nephritis with nephrotic state in children: predictors of poor outcomes. *Pediatr Nephrol* 2012; 27(2): 335
- 73) Yata N, Uemura O, Honda M, Matsuyama T, Ishikura K, Hataya H, Nagai T, Ikezumi Y, Fujita N, Ito S, Iijima K, Saito M, Keneko T, Kitagawa T. Reference ranges for serum cystatin C measurements in Japanese children by using 4 automated assays. 2013; [Epub ahead of print]
- 74) 石倉健司. ネフローゼ症候群. 今日の小児治療指針 第15版 16 腎・泌尿器疾患 2012; 16: 577-579
- 75) 上村治. 小児における慢性腎臓病対策. 日児誌. 2011; 115: 1713-26.
- 76) 上村治. 【輸液 Q&A】有効浸透圧とはなんですか? 小児内科. 2011; 43: 664-6662 .
- 77) 上村治. 小児 CKD の定義と診断. 日児腎不全誌. 2011; 31: 1-5.
- 78) 上村治. 小児への透析治療 小児腹膜透析の実際と要点. 腎と透析. 2011; 70: 191-195
- 79) 上村治. 末期腎不全小児における食事療法. 腎と透析. 2011; 71: 373-377.
- 80) 伊藤秀一, 佐古まゆみ, 斉藤真梨, 佐藤舞, 藤丸拓也, 小椋雅夫, 亀井宏一: わが国の小児急性血液浄化療法の実態調査. 日本小児腎不全学会雑誌 2012; 32 : 231-232,
- 81) 伊藤秀一: 【クローズアップ腎・泌尿器】管理・治療の進歩 膜性増殖性糸球体腎炎と補体第二経路異常症. 小児内科 2012; 44 : 259-264
- 82) 伊藤秀一: 【小児疾患の診断治療基準(第

- 4版)】(第2部)疾患 泌尿・生殖器疾患 急速進行性糸球体腎炎. 小児内科 44 増刊号; 612 - 614, 2012
- 83) 伊藤秀一: 【腎疾患治療マニュアル 2012-13】続発性腎疾患 チアノーゼ性心疾患に伴う腎障害. 腎と透析 72 増刊号; 343-346, 2012
- 84) 伊藤秀一: こどもの腎炎・ネフローゼ. 編集 伊藤秀一, 監修 五十嵐 隆, メディカルトリビューン: 2012
- 85) 伊藤秀一: この本を手にとられた方へ. こどもの腎炎・ネフローゼ, 株式会社メディカルトリビューン, 2012: 10-24
- 86) 伊藤秀一: 小児の急性腎障害(AKI)と急性血液浄化療法. 日本小児科学会雑誌 116: 666-678, 2012
- 87) 伊藤秀一: 小児の腎不全・透析・腎移植の現状と問題点. 新 腎不全・透析患者指導ガイド 編集 湯村 和子, 高橋 公太, 濱田 千江子, 監修 湯村 和子, 日本医事新報社: 155-157, 2012
- 88) 伊藤秀一: 小児ループス腎炎. 腎と透析 東京医学社: 112 - 116, 2013
- 89) 伊藤秀一: 小児期発症難治性ネフローゼに対するリツキシマブ治療の可能性. 腎と透析 73: 463-467, 2012
- 90) 伊藤秀一: 【ネフローゼ症候群治療の最前線】リツキシマブ小児. 腎と透析 72: 876-880, 2012
- 91) 伊藤秀一. 小児急性肝不全に対する人工肝補助療法 医工学治療 2011, 23: 71-74
- 92) 服部元史, 芦田明: 小児CKD患者のMBD管理. 腎と透析 72:713-717, 2012
- 93) 服部元史, 芦田明: 小児のCKD-MBDをどう診るか? 腎と骨代謝 25: 313-319, 2012
- 94) 服部元史, 近本裕子: 腎・泌尿・生殖器疾患. 臨床病態学 小児編(北村聖総編集, 鈴木葉子, 本間哲編集), p267-300, ヌーヴェルヒロカワ, 2012
- 95) 服部元史, 相馬泉: 小児のアフェレシス. アフェレシス療法ポケットマニュアル(野入英世, 花房規男編著), p286-292, 医歯薬出版, 2012
- 96) 服部元史: 急性腎障害(AKI). 小児内科 44:162-165, 2012
- 97) 服部元史: 血液透析. 今日の小児治療指針(大関武彦, 古川漸, 横田俊一郎, 水口雅総編集), p84-86, 医学書院, 2012
- 98) 服部元史: 原発性巣状分節性糸球体硬化症(FSGS)の腎移植後再発に対する実践的診療アプローチ. 日本小児腎不全学会雑誌 32:25-27, 2012
- 99) 服部元史: 小児. (社)日本透析医学会専門医試験問題解説集(日本透析医学会専門医制度委員会編), p341-345, 医学図書出版株式会社, 2012
- 100) 服部元史: 小児腎移植の展望. 今日の移植 25:60-63, 2012
- 101) 服部元史: 小児腎性貧血. 腎と透析 72:555-559, 2012
- 102) 服部元史: 小児腎性貧血への処置. 臨床に直結する腎疾患治療のエビデンス(小林正貴, 南学正臣, 吉村吾志夫編集), p337-340, 文光堂, 2012
- 103) 服部元史: 腎炎・ネフローゼ患児への食事指導. 今日の小児治療指針(大関武彦, 古川漸, 横田俊一郎, 水口雅総編集), p571-572, 医学書院, 2012
- 104) 服部元史: 腎尿路疾患. からだの科学 272:85-88, 2012
- 105) 服部元史: 成長障害. 腎と透析(増刊号) 72:133-136, 2012
- 106) 服部元史: 先天性ネフローゼ症候群. 腎臓症候群上, p328-331, 日本臨床社, 2012
- 107) 服部元史: 蛋白尿惹起液性因子に関する最近の知見. 腎と透析 72:810-813, 2012
- 108) 服部元史: 長期フォローアップにおける小児腎臓病専門医の役割. 泌尿器外科 25(臨時

- 増刊):1063-1064, 2012
- 109) 服部元史: 小児ネフローゼ症候群. *Clinical study* 33:33-40, 2012
- 110) 服部元史: 腎不全による成長障害. 腎臓症候群上, p54-57, 日本臨床社, 2012
- 111) 服部元史: 先行的腎移植と IC,登録,実施時期: 小児患者. 腎と透析 73:849-854, 2012
- 112) 服部元史: 小児期発症例と成人期発症例の差異. 腎と透析 72:49-51, 2012
- 113) 服部元史、芦田明: Nail-Patella 症候群. 50の典型例で学ぶ小児の腎泌尿器疾患(金子一成編)、p115-118、2011
- 114) 服部元史、芦田明: 小児 CKD と血管石灰化. 腎と透析 71: 849-853, 2011
- 115) 服部元史、近本裕子: 微小変化型ネフローゼ症候群(MCNS). 腎と透析 70: 49-52, 2011
- 116) 服部元史、相馬泉: 小児における血液浄化法. ベッドサイドで役立つ実践急性血液浄化(篠崎正博・秋沢忠雄・中敏夫編集)、p291-300、総合医学社、2011
- 117) 服部元史: IgA 腎症はどの年代で発症しやすいのでしょうか? IgA 腎症診療ガイド Q&A (松尾清一監修)、p14-15、2011
- 118) 服部元史: 小児の AKI. *Modern Physician* 31: 72-74, 2011
- 119) 服部元史: 小児の腎機能の評価. *循環器内科* 69: 85-88, 2011
- 120) 服部元史: 小児患者に対する透析. 血液浄化療法ハンドブック(透析療法合同専門委員会編集)、p243-262、共同医書出版社、2011
- 121) 服部元史: 小児期発症と成人期発症の IgA 腎症では、臨床・病理像や予後の点でどのような違いがあるのでしょうか? IgA 腎症診療ガイド Q&A (松尾清一監修)、p16-17、2011
- 122) 服部元史: 小児急性血液浄化療法の歩みと現況. *日本急性血液浄化学会雑誌* 2: 11-18, 2011
- 123) 服部元史: 小児腎疾患におけるアフエシス. *日本アフエシス学会雑誌* 30: 90-96, 2011
- 124) 服部元史: 小児腎臓病—小児末期腎不全診療の現況と課題—. *東京女子医科大学雑誌* 81: 1-6, 2011
- 125) 服部元史: 小児腎不全: 適応と治療. 透析のすべて—原理・技術・臨床—(篠田俊雄・嶋島三千男編集) p124-128、学研メディカル秀潤社、2011
- 126) 服部元史: 小児末期腎不全診療の現況. 腎と透析(増刊号) 70: 187-190, 2011
- 127) 服部元史: 腎移植後成長(最終身長). 腎移植後内科・小児科系合併症の診療ガイドライン 2011(日本臨床移植学会ガイドライン作成委員会編集)、p51-57、日本医学館、2011
- 128) 服部元史: 腎疾患. 小児科臨床ピクシス 小児慢性疾患のサポート(五十嵐隆総編集、楠田聡専門編集)、p25-29、2011
- 129) 服部元史: 先天性ネフローゼ症候群. 腎臓症候群、p 328-331、2011
- 130) 服部元史: 末期小児腎不全. 腎と透析 70: 347-351, 2011
- 131) 大橋靖雄. ゲノムコホート研究と統計解析. *Medical Science Digest*, 2011, 37-12: 20-23
- 132) 大橋靖雄. 医師のための臨床統計学, 医歯薬出版, 2011
- 133) 大橋靖雄. 転換期を迎えた臨床試験・臨床研究をいかに支援するか - 日本臨床試験研究会のミッション. *Therapeutic Research*, 2010, 31(6): 757-760
- 134) 濱崎祐子. 12 ガイドブック 血圧管理:小児. *医学のあゆみ* vol. 243, No. 9 ,p817-820 ,2012 , 医歯薬出版株式会社
- 135) 濱崎祐子. CKD 診療ガイド 2012 ガイドブック 生活指導・食事指導:小児. *医学のあゆみ* vol. 243, No. 9 , p793-798 , 2012 , 医歯薬出版株式会社

- 136) 濱崎祐子. Q69 小児 CKD 患者の生活管理はどのようにするべきでしょうか?. CKD 診療ガイド 2012 Question & Answer, p168-169, 2012, 診断と治療社
- 137) 濱崎祐子. Q70 小児 CKD 患者に食事制限は行うべきでしょうか?. CKD 診療ガイド 2012 Question & Answer, p170-172, 2012, 診断と治療社
- 138) 濱崎祐子. Q71 高血圧を合併する小児 CKD 患者はどのように治療するのでしょうか?. CKD 診療ガイド 2012 Question & Answer, p173-175, 2012, 診断と治療社
- 139) 濱崎祐子. 血圧管理:小児. CKD 診療ガイド 2012, p71-72, 2012, 日本腎臓学会編, 東京医学社
- 140) 濱崎祐子. 小児慢性疾患の生活指導 - 最新の知見から - 慢性腎疾患・慢性腎不全. 小児科臨床 vol. 65, no 4 p659-664, 2012, 日本小児医事出版社
- 141) 濱崎祐子. 生活指導・食事指導:小児. CKD 診療ガイド 2012, p57-60, 2012, 日本腎臓学会編 東京医学社
- 142) 本田雅敬, 山川聡, 後藤美和. 【疾患をもつ児童の運動管理】 学校腎臓検診と運動管理. 小児科 2012; 53: 9-20
- 143) 本田雅敬. 「学校検尿のすべて」の改訂について. 福岡県医報 2012; 1435: 6-7
- 144) 本田雅敬. 腎・泌尿器疾患. 小児看護学 2 健康障害をもつ小児の看護. 松尾宣武 濱中喜代編 メヂカルフレンド社 2012; P306-345, 東京
- 145) 本田雅敬. 小児ステロイド抵抗性ネフローゼ症候群(SRNS)におけるステロイドパルス療法. PROGRESS IN MEDICINE. 2011, 31: 2123-2128
- 146) 本田雅敬. 小児腎不全のトータルケア. 日本小児腎不全学会雑誌. 2011, 31: 47-50
- 147) 田中亮二郎 紫斑病性腎炎 総編集 大関武彦, 古川漸, 横田俊一郎, 水口雅, 今日の小児治療指針 第 15 版 580, 医学書院, 2012
- 148) 田中亮二郎 膜性腎症 小児内科, 小児外科編集委員会共編 小児疾患の診断治療基準 第 4 版 620 - 621, 東京医学書, 2012
- 149) 田中亮二郎. Na は細胞外液に存在するのに、なぜ低 Na 血症の補正時には体内総水分量 (補正係数 0.6) が使用されるのですか? 小児内科 2011. 43: 674-676
- 150) 田中亮二郎. Henoch-Schonlein 紫斑病—小児紫斑病性腎炎を中心に—. Reumatology 2011. 45: 400-405
- 151) 中西浩一 遺伝性糸球体疾患 編集 日本小児腎臓病学会 小児腎臓病学 診断と治療社 2012;210-214
- 152) 中西浩一, 吉川徳茂 遺伝子診断の臨床応用-ネフローゼ症候群 小児内科 クローズアップ腎泌尿器 44(2):210-215,2012
- 153) 中西浩一, 吉川徳茂 多発性嚢胞腎(小児) 編集 「腎と透析」編集委員会 「腎疾患治療マニュアル 2012-2013」 東京医学社 2012; 445-449
- 154) 中西浩一, 吉川徳茂 慢性糸球体腎炎 18 章 腎・泌尿器・生殖器疾患 総編集 遠藤文夫 「小児科診断・治療ガイド」 中山書店 2012; 673-679
- 155) 中西浩一, 吉川徳茂, 服部元史:常染色体劣性多発性嚢胞腎-疫学と臨床. 特集:多発性嚢胞腎, 腎臓 2012;34(3);194-200
- 156) 中西浩一, 吉川徳茂. 遺伝性腎炎(Alport 症候群). 小児疾患の診断治療基準 第 4 版 小児内科 2012;44 増刊号:630-631
- 157) 中西浩一, 吉川徳茂: ARPKD の基礎と臨床-最新の知見 特集:多発性嚢胞腎-最新の知見と今後の課題. 日本腎臓学会誌 2012;54(4):534-537
- 158) 中西浩一, 吉川徳茂: 繊毛病(Ciliopathy). 日本小児腎臓病学会雑誌 2012;25(2):127-131
- 159) 中西浩一 遺伝性糸球体疾患 編集 日本小児腎臓病学会 小児腎臓病学 pp210-214 2012.1.11, 診断と治療社

- 160) 中西浩一 第II部 ARPKD(常染色体劣性多発性嚢胞腎) 監修 松尾清一 編集 堀江重郎 多発性嚢胞腎診療ガイド Q&A pp119-139 2011.10.1
- 161) 中西浩一, 吉川徳茂 【子どもの臨床検査症候から診断・治療へ】 症候からみる臨床検査の進めかた 浮腫(解説/特集) 小児科診療(0386-9806)74 巻増刊 Page21-28(2011.04)
- 162) 中西浩一, 吉川徳茂 【小児の酸塩基平衡 Q&A-異常へのアプローチ-】 治療 アルカリ血症に対する補正輸液(Q&A/特集)小児科学レクチャー(2186-0254)1 巻1号 Page174-180(2011.04)
- 163) 中西浩一, 吉川徳茂 【輸液 Q&A】 アニオンギャップとはなんですか?(解説/特集) 小児内科(0385-6305)43 巻4号 Page680-682(2011.04)
- 164) 中西浩一, 吉川徳茂 Alport 症候群と家族性良性血尿の異同 編集 金子一成 50 の典型例で学ぶ小児の腎泌尿器疾患 pp46-49 2011.6.10
- 165) 中西浩一, 吉川徳茂 Drash 症候群 編集 金子一成 50 の典型例で学ぶ小児の腎泌尿器疾患 pp110-114 2011.6.10
- 166) 小椋雅夫, 伊藤秀一: 夜尿・遺尿・今日の治療と看護 第3版 (in press)
- 167) ハリエットレーンハンドブック第2版: 第19章 p.476-483 翻訳 (in press)
- 168) 宇田川智宏, 伊藤秀一: 【腎疾患治療マニュアル2012-13】尿細管疾患 尿細管間質性腎炎 薬剤・重金属による腎障害. 腎と透析 72 増刊号 ; 411-415, 2012
- 169) 岡田はるか, 服部淳, 井口梅文, 益田博司, 小林由典, 小穴慎二, 阪井裕一, 賀藤均, 伊藤秀一, 阿部淳: 書書いた医療免疫グロブリン療法不応でインフリキシマブ投与を行った川崎病再発例とその経過. 心臓 44 : 623-624, 2012
- 170) 亀井宏一, 伊藤秀一, 守本倫子: 腎疾患治療マニュアル2012-13 各論 症候と検査への対応の仕方(診断) 15. 聴力障害. 腎と透析 72 増刊号 ; 101-104, 2012
- 171) 亀井宏一, 伊藤秀一: 巣状分節性糸球体硬化症 小児疾患の診断治療指針, 小児内科 2012 増刊号; 44 : 624-625.
- 172) 亀井宏一, 宮園明典, 佐藤舞, 石川智朗, 藤丸拓也, 小椋雅夫, 伊藤秀一: 採尿を必要としないイヌリン血漿クリアランス法の試み. 日本小児腎不全学会雑誌 32 : 265-268, 2012
- 173) 亀井宏一, 宮園明典, 佐藤舞, 石川智朗, 藤丸拓也, 小椋雅夫, 伊藤秀一: 採尿を必要としない腎糸球体濾過量測定法の試み. 日本小児科学会雑誌 116 : 1869-1874, 2012
- 174) 亀井宏一, 石川智朗, 宮園明典, 佐藤舞, 藤丸拓也, 小椋雅夫, 宇田川智宏, 田中秀明, 宇野光昭, 清谷知賀子, 森鉄也, 佐古まゆみ, 中村秀文, 伊藤秀一: 肝芽腫に対しカルボプラチン投与を行った慢性腎不全の1歳男児例. 日本小児腎不全学会雑誌 32 : 157-159, 2012
- 175) 亀井宏一: 18章 腎・泌尿器・生殖器疾患 急性腎不全. 最新ガイドライン準拠小児科診断・治療指針, 中山書店, 2012 : 686-688
- 176) 亀井宏一: 小児の腎機能検査の現状と問題点. 日本小児科学会雑誌 117 : 11-20, 2013
- 177) 亀井宏一: 専門医をめざす! 小児科試験問題集増補版, 中山書店, 2012.4.3 増補版第1刷発行, p337-350
- 178) 亀井宏一: 第5章 これで安心 日常生活について. こどもの腎炎・ネフローゼ, 株式会社メディカルトリビューン, 2012 : 141-156
- 179) 原田涼子, 長岡由修, 池宮城雅子, 山田剛史, 濱田陸, 坂井智行, 濱崎祐子, 石倉健司, 幡谷浩史, 本田雅敬. 強力な免疫抑制療法により寛解導入した肺出血合併急速進行性糸球体腎炎の3例. 日本小児腎不全会誌. 2012; 32: 305
- 180) 戸川寛子, 中西浩一, 吉川徳茂: 髄質嚢胞腎. 腎臓症候群(第2版) - その他の腎臓疾患を含めて - 別冊日本臨床 新領域別症候群シリーズ

17:600-602, 2012.

181) 後藤美和, 二宮誠, 上村治, 松山健, 伊藤雄平, 幡谷浩史, 伊藤秀一, 山川聡, 石川智朗, 本田雅敬. 小児腎疾患患者に対する運動制限についてのアンケート調査. 日本小児腎臓病学会雑誌 2012; 25: 6-17

182) 後藤美和, 本田雅敬. 腎機能障害児に対する薬物治療とその問題点. 日本小児科学会雑誌 2012; 116: 827-834

183) 坂井智行, 幡谷浩史, 濱田陸, 山田剛史, 池宮城雅子, 長岡由修, 原田涼子, 濱崎祐子, 石倉健司, 本田雅敬, 後藤知英, 宮川正, 清水直樹. 腹膜透析管理中に PRES(Posterior reversible encephalopathy syndrome)による頭蓋内圧亢進のため開頭減圧術を要した1例. 日小児腎不全会誌. 2012; 32: 77

184) 三上直朗, 石倉健司. 新生児の腎疾患と遺伝. 周産期医学 2012; 42: 1167-1174

185) 山川聡, 二宮誠, 石川智朗, 後藤美和, 上村治, 本田雅敬. 慢性腎臓病 (CKD) への運動制限のエビデンス. 日本小児腎臓病学会雑誌 2012; 25: 19-26

186) 山田剛史, 原田涼子, 長岡由修, 池宮城雅子, 濱田陸, 坂井智行, 濱崎祐子, 石倉健司, 幡谷浩史, 本田雅敬. クロルヘキシジン消毒下における出口部感染症起因菌の変化. 日本小児腎不全学会雑誌 2012; 32: 75-76

187) 山田剛史, 濱崎祐子, 石倉健司. 【クローズアップ腎・泌尿器】 概念・研究の進歩 小児のCKD と eGFR 評価小児内科. 2012; 44: 151-155

188) 小牧文代, 石倉健司. 【腎疾患治療マニュアル 2012-13】 糸球体疾患 微小変化型ネフローゼ症候群(小児). 腎と透析 2012; 72: 266-270

189) 小椋雅夫, 伊藤秀一: 米国 KDOQI ガイドラインの要点と日本の現状 16. 小児CKD の栄養管理. 腎と透析. 2012 ; 73 : 564-568

190) 小椋雅夫, 亀井宏一, 宮園明典, 佐藤舞, 藤丸拓也, 石川智朗, 松岡健太郎, 田中秀明, 笠

原群生, 伊藤秀一: 国立成育医療研究センターにおける腎移植の特色と問題点. 日本小児腎不全学会誌 ; 2012 ; 32 : 125-129

191) 小椋雅夫: やさしくわかる 腎臓のしくみとはたらき. 国立成育医療研究センターBook シリーズ こどもの腎炎・ネフローゼ. メディカルトリビューン. 2012 ; 25-37 .

192) 新井田麻美, 石倉健司, 腎臓症候群(第2版) 上-その他の腎臓疾患を含めて-】 先天性・遺伝性腎疾患 形態・位置・数などの異常 腎の形成異常(低形成・異形成腎を中心に). 日本臨床 別冊(腎臓症候群(上)) 2012; 485-491

193) 新井田麻美, 本田雅敬. 【クローズアップ腎・泌尿器】 概念・研究の進歩 小児期発症慢性腎不全藤田直也, 本田雅敬, 武田良淳, 齋藤美香, 稲葉彩. 小児高血圧の薬物療法のガイドラインの概説. 小児高血圧研究会誌 2012; 9: 13-24

194) 深川雅史, 横山啓太郎, 安藤亮一, 角田隆俊, 谷口正智, 藤井直彦, 風間順一郎, 駒場大峰, 庄司哲雄, 服部元史, 芦田明, 中山昌明, 小岩文彦, 柴垣有吾, 福本誠二: 慢性腎臓病に伴う骨・ネラル代謝異常の診療ガイドライン. 日本透析医学会雑誌 45:301-356, 2012

195) 石川智朗, 伊藤秀一: 【小児・思春期診療 最新マニュアル】(4章)よくみられる疾患・見逃せない疾患の診療 腎尿路系疾患と生殖器疾患 尿路感染症. 日本医師会雑誌 141 特別1: S203-S204, 2012

196) 石川智朗, 佐藤舞, 藤丸拓也, 宮園明典, 小椋雅夫, 亀井宏一, 伊藤秀一: A R S ウイルス感染症により病態の悪化をきたしたステロイド抵抗性ネフローゼ症候群の4例. 日本小児腎不全学会雑誌 32 : 310-311, 2012

197) 村上睦, 阿部勝巳, 飯高喜久雄, 高橋英子, 本田雅敬, 新村文男, 松浦信夫, 茂呂修平. 章管理と治療. 学校検尿のすべて 平成 23 年度改訂. 日本学校保健会編 財団法人 日本学校保健会 2012; P55-84, 東京

- 198) 田中百合子, 本田雅敬. 透析時の食事療法 (エネルギー, たんぱく質, 塩分など). 腎疾患治療のエビデンス第二版 小林正貴 南学正臣 吉村吾志夫編, 文光堂, 2012, P344-347, 東京
- 199) 島友子, 中西浩一, 吉川徳茂 【小児の診療手技 100】腎生検 小児科診療(0386-9806)75 巻増刊 Page286-290(2012.04)
- 200) 藤丸拓也, 伊藤秀一: 第 2 章 とことん解説 ネフローゼ症候群 成育医療研究センター Book シリーズ こどもの腎炎・ネフローゼ, 株式会社メディカルトリビューン . 39-82 . 2012
- 201) 藤丸拓也, 伊藤秀一: 膀胱尿管逆流症 . 小児・思春期診療 最新マニュアル . 株式会社中山書店 . 205-206 . 2012
- 202) 藤田直也, 本田雅敬, 武田良淳, 齋藤美香, 稲葉彩. 小児高血圧の薬物療法のガイドラインの概説. 小児高血圧研究会誌 2012; 9: 13-24
- 203) 本田貴実子, 秋岡祐子, 菅原典子, 上田博章, 藤井寛, 近本裕子, 服部元史: 低・異形成腎に対する腎代替療法の選択と開始時期の検討. 日本小児腎臓病学会雑誌 25:1-4, 2012
- 204) 柳原剛, 多田奈緒, 伊藤雄平, 高橋昌里, 服部元史, 松山健, 大友義之, 土屋正巳: 乳幼児検尿全国アンケート調査. 日本小児科学会雑誌 116 : 97-102, 2012
- 205) 濱谷亮子, 大津美紀, 菅原典子, 石塚喜世伸, 近本裕子, 秋岡祐子, 服部元史: 小児期に腎移植を受けた若年成人レシピエントの上腕 足首脈波伝搬速度 (baPWV) に関する検討. 日本小児腎臓病学会雑誌 25:12-17, 2012
- 206) 濱田陸, 幡谷浩史, 山田剛志, 坂井智行, 濱崎祐子, 石倉健司, 本田雅敬. 当院での P D 関連感染性腹膜炎の起炎菌調査ならびに empiric therapy の再考. 日小児 P D H D 研究会誌. 2012; 24: 19-22
- 207) 濱田陸, 幡谷浩史, 本田雅敬. 【AKI の管理 Q&A-救急・集中治療のための質問 237-】術後 AKI 手術後 AKI(小児). 救急・集中治療 2012; 24: 344-351
- 208) 宇田川智宏, 小椋雅夫, 亀井宏一, 尾田高志, 伊藤秀一. syndrome(PRES)で発症した容連菌感染後急性糸球体腎炎の一男児例 小児高血圧研究会誌 2011, 8 : 37-43
- 209) 乾あやの, 角田知之, 村山晶俊, 十河剛, 小松陽樹, 石倉健司, 伊地知園子, 伊藤秀一, 垣内俊彦, 原田知典. 小児の ductal plate malformation の臨床経過. 日本小児科学会雑誌 2011; 115:258
- 210) 亀井宏一, 佐藤舞, 石川智朗, 藤丸拓也, 堤晶子, 野田俊輔, 宇田川智宏, 小椋雅夫, 伊藤秀一: ステロイド投与による血清シスタチン C 測定値への影響. 日本小児科学会雑誌 2011 ; 115 : 74-76
- 211) 亀井宏一, 堤晶子, 野田俊輔, 石川智朗, 佐藤舞, 藤丸拓也, 宇田川智宏, 小椋雅夫, 大橋牧人, 磯部英輔, 土井房恵, 川田容子, 源規安, 伊藤秀一: 無酢酸透析液が有用であった生後 5 ヶ月の男児例. 日本透析医学会雑誌 2011, 44 : 87-92
- 212) 亀井宏一, 伊藤秀一, 飯島一成. 採尿を必要としないイヌリンクリアランスの測定の試み 日本腎臓学会誌 2011, 53 : 181-188
- 213) 亀井宏一, 小椋雅夫, 佐藤舞, 石川智朗, 藤丸拓也, 宇田川智宏, 六車崇, 中川聡, 堀川玲子, 笠原群生, 伊藤秀一. 一歳未満の急性血液浄化療法 日本小児科学会雑誌 2011, 115 : 1307-131
- 214) 亀井宏一, 小椋雅夫, 佐藤舞, 石川智朗, 藤丸拓也, 宇田川智宏, 六車崇, 中川聡, 堀川玲子, 笠原群生, 伊藤秀一. 一歳未満の急性血液浄化療法 日本小児腎不全学会雑誌 2011, 31 : 229-231
- 215) 吉村めぐみ, 石倉健司. 【小児の酸塩基平衡 Q&A-異常へのアプローチ-】酸塩基平衡異常の分類 酸塩基平衡異常の分類 基礎と考え方. 小児科学レクチャー 2011; 1(1): 45-52

- 216) 佐藤舞, 藤丸拓也, 石川智朗, 宇田川智宏, 小椋雅夫, 亀井宏一, 伊藤秀一, 堤晶子. 急性腎障害から回復することなく末期腎不全に移行した乳児の 3 例 日本小児腎不全学会雑誌 2011, 31: 89-92
- 217) 坂井智行, 池宮城雅子, 山田剛史, 松本真輔, 稲葉彩, 濱田陸, 濱崎祐子, 石倉健司, 幡谷浩史, 本田雅敬. 肺合併症をもつ PD 導入患児の予後. 日本小児 PD・HD 研究会雑誌 2011; 23: 21-22
- 218) 山川聡, 上村治, 永井琢人, 日比喜子, 山崎靖人, 山本雅紀, 中野優, 笠原克明, 谷風三郎, 吉野薫, 渡邊仁人. 一次性膀胱尿管逆流症 425 症例における grade 別の breakthrough infection の検討. 日児腎誌. 2011; 24: 19-26.
- 219) 山田剛史, 坂井智行, 池宮城雅子, 松本真輔, 稲葉彩, 濱田陸, 濱崎祐子, 石倉健司, 幡谷浩史, 本田雅敬. 小児腎性貧血患者の赤血球は大きい 日本小児腎不全学会雑誌; 2011, 31: 323-324
- 220) 山田剛史, 濱崎祐子, 石倉健司. 【ライフスパンからみた小児科診療】 慢性腎臓病. 小児内科 2011; 43(9): 1555-1557
- 221) 小椋雅夫, 亀井宏一, 堤晶子, 野田俊輔, 佐藤舞, 藤丸拓也, 石川智朗, 宇田川智宏, 伊藤秀一. 難治性ネフローゼ症候群におけるリツキシマブの恩恵 骨合併症の見地から 日本小児腎臓病学会雑誌 2011, 24: 31-35
- 222) 松尾清一, 川村哲也, 城謙輔, 宇都宮保典, 小此木英男, 宮崎陽一, 小池健太郎, 横尾隆, 松島雅人, 吉村光弘, 小倉誠, 堀越哲, 鈴木佑介, 古巣朗, 木村健二郎, 安田隆, 白井小百 0 合, 遠藤正之, 柴田孝則, 服部元史, 秋岡祐子, 平野景太, 片渕律子, 久野敏, 清水章, 橋口明典, 吉川徳茂, 富野康日己: IgA 腎症診療指針 - 第 3 版 -. 日本腎臓学会誌 53:123-135, 2011
- 223) 松本真輔, 濱崎祐子, 吉村めぐみ, 稲葉彩, 岡本正二郎, 濱田陸, 坂井智行, 石倉健司, 幡谷浩史, 金子徹治, 本田雅敬. 小児の血液透析における長期留置用透析カテーテルの合併症と管理. 日本小児科学会雑誌 2011; 115(5): 943-947
- 224) 新井田麻美, 本田雅敬. 慢性糸球体腎炎・ネフローゼ症候群治療における免疫抑制薬(リツキシサン, MMF, TAC など) .Mebio. 2011, 28: 79-85
- 225) 谷口貴実子, 藤井寛, 大森多恵, 上田博章, 水谷誠, 古山政幸, 石塚喜世伸, 梶保祐子, 近本裕子, 秋岡祐子, 中西敏雄, 服部元史: 進行性の腹部大動脈狭窄を生じた Mid-Aortic Syndrome の 1 例. 日本小児科学会雑誌 115: 1073-1077, 2011
- 226) 池宮城雅子, 濱崎祐子, 山田剛史, 松本真輔, 濱田陸, 稲葉彩, 坂井智行, 石倉健司, 幡谷浩史, 本田雅敬. 腹膜透析管理中の難治性緑膿菌肺炎に対しトブラマイシン吸入が有効であった 1 例. 日本小児腎不全学会雑誌 2011; 31: 272-274
- 227) 田崎あゆみ, 上村治. 慢性腎臓病(CKD)を持つ子どもの移行に伴う問題点と対策. ナーシング・トゥデイ. 2011; 26: 37-43.
- 228) 日比喜子, 上村治, 永井琢人, 山川聡, 山崎靖人, 山本雅紀, 中野優, 笠原克明. 小児の尿中 β 2-MG/Cr 比の基準値は年齢によって異なる. 日児腎不全誌. 2011; 31: 128-130.
- 229) 乳原善文, 香村衡一, 木村理, 嶋村剛, 田邊一成, 土谷健, 成田一衛, 中西浩一, 西尾妙織, 奴田原紀久雄, 野村信介, 花岡一成, 東原英二, 堀江重郎, 武藤智, 望月俊雄, 進行性腎障害に関する調査研究班多発性嚢胞腎分科会 厚生労働省進行性腎障害調査研究班 多発性嚢胞腎診療指針 2010 年 8 月(解説) 日本腎臓学会誌 (0385-2385)53 巻 4 号 Page556-583(2011.05)
- 230) 飯島一成, 佐古まゆみ, 木村利美, 服部元史, 亀井宏一, 野津寛大, 穴戸清一郎, 相川厚, 森田研, 後藤芳充, 和田尚弘, 大塚泰史, 長田道夫, 齊藤真梨, 本田雅敬, 土田尚, 中村秀文: 小児腎移植におけるミコフェノール酸モフェチルの多施設共同オープンラベル臨床試験—有効性・安全性, 薬物動態の評価—. 日本小児腎臓

病学会雑誌 24 : 36-46 , 2011

231) 木村健二郎, 吉田雅治, 武曾惠理, 本田雅敬 .

ネフローゼ症候群 Up to date - 特に免疫抑制薬の進歩に焦点を当てて - . Nephrology Frontier, 2011, 10: 14-23

2. 学会

1) Ishikura K, Uemura O, Ito S, Wada N, Hattori M, Ohashi Y, Hamasaki Y, Tanaka R, Nakanishi K, Honda M. Pre-dialytic chronic kidney disease in children: a nationwide survey in Japan. The 11th Asian Congress of Pediatric Nephrology, 福岡, 2011年6月

2) Ishikura K. Posterior reversible encephalopathy syndrome in the field of pediatric nephrology. The 11th Asian Congress of Pediatric Nephrology, 福岡, 2011年6月

3) Ishikura K, Uemura O, Ito S, Wada N, Hattori M, Ohashi Y, Hamasaki Y, Tanaka R, Nakanishi K, Kaneko T, Honda M. Progression to ESKD in children with CKD: A nation-wide cohort study in Japan. 45th Annual Meeting of the American Society of Nephrology, San Diego, USA, 2012年10月

4) Ishikura K, Uemura O, Ito S, Wada N, Hattori M, Ohashi Y, Hamasaki Y, Honda M, Tanaka R, Kaneko T, Nakanishi K. Pre-Dialytic chronic kidney disease in children: A nationwide epidemiologic survey in Japan. ASN Kidney week 2011, Philadelphia, 2011年11月

5) Uemura O. Invited Lecture "Diagnosis and management of pediatric CKD" The 11th Asian Congress of Pediatric Nephrology. Fukuoka 2011.6.2

6) Ito S, Sato M, Ogura M, Kamei K, Sako M: Nationwide Japanese Survey of Continuous Renal Replacement Therapy for Acute Kidney Injury in Children. American Society of

Nephrology (ASN). 2012, San Diego, USA, 2012.11.1

7) Ito S, Udagawa T, Ogura M, Mayumi S, Kamei K, Iijima K. Efficacy of Maintenance Therapy with Mycophenolate Mofetil after Rituximab for Steroid-Dependent Nephrotic Syndrome. Pediatric Academic Societies and Asian Society for Pediatric Research Joint Meeting. Denver, USA, 2011.5.2

8) Ito S. Treatment for Refractory Nephrotic Syndrome; Other Immunosuppressive Drugs. The 11th Asian Congress of Pediatric Nephrology. Fukuoka, Japan, 2011.6.2.

9) Ito S, Kamei K, Udagawa T, Ogura M, Fujimaru T, Ishikawa T, Sato M, Fujinaga S, Iijima K. National survey of rituximab treatment for childhood idiopathic nephritic syndrome. The 11th Asian Congress of Pediatric Nephrology. Fukuoka, Japan, 2011.6.2.

10) Hamasaki Y. Cyclosporine therapy in Asian children with idiopathic nephrotic syndrome. The 11th Asian Congress of Pediatric Nephrology, 福岡, 2011年6月

11) Hamasaki Y, Muramatsu M, Hamada R, Sakai T, Ishikura K, Hataya H, Satoh H, Shishido S, Honda M. Subclinical rejection management and transplanted kidney function in children undergoing kidney transplantation. ASN Kidney week 2011, Philadelphia, 2011年11月

12) Hamasaki Y, Shishido S, Hamada R, Sakai T, Ishikura K, Hataya H, Satoh H, Honda M. Low recurrence rate of primary disease after kidney transplantation in children. ASN Kidney week 2011, Philadelphia, 2011年11月

13) Nakanishi K. Pathophysiology of polycystic kidney disease. Symposium 10 Hereditary renal disease. The 11th Asian Congress of Pediatric

Nephrology 2011, June 2-4, 2011 in Fukuoka.

14) Ishimori S, Kaito H, Otsubo H, Hashimoto F, Ninchoji T, Kamioka I, Shima Y, Hamahira K, Nakanishi K, Tanaka R, Yoshikawa N, Iijima K: Clinicopathological characteristics and kidney outcome of childhood-onset lupus nephritis with acute kidney injury: from the multicenter study in Japan. The 45th ESPN Annual Meeting, September 6th – 8th 2012, Krakow, Poland

15) Ogura M, Kamei K, Miyazono M, Sato M, Fujimaru T, Ishikawa T, Matsuoka K, Saito A, Ito S. : Paradoxical hypoalbuminemia in children with active nephrotic syndrome presenting with no or subtle proteinuria. Japan-Korea Pediatric Nephrology Seminar. Tokyo. 2012.5.12

16) Hamada R, Hataya H, Sakai T, Matsui Z, Muramatsu M, Satoh H, Hamasaki Y, Ishikura K, Shishido S, Honda M. Characteristics of puberty and catch-up growth in children who undergo kidney transplantation before puberty. International Pediatric Transplant Association - Regional Education Meeting-, Aichi, 2012 年 9 月

17) Nagaoka Y, Ishikura K, Hamada R, Sakai T, Hamasaki Y, Hataya H, Honda M. Acute kidney injury in pediatric idiopathic nephrotic syndrome without hypovolemia. 45th Annual Meeting of the American Society of Nephrology, San Diego, USA, 2012 年 10 月

18) Miyazono A, Yoneda Y, Fujimaru T, Sato M, Ogura M, Kamei K, Saito H, Ito S. : Clinical course and genetic analysis of 39 Japanese children with autosomal recessive polycystic kidney disease. American Society of Nephrology (ASN). 2012, San Diego, USA, 2012.11.3

19) Sato M, Okada M, Miyazono A, Fujimaru T, Ogura M, Kamei K, Ito S : Impact of Rituximab

on growth and weight in children with steroid dependent nephrotic syndrome. American Society of Nephrology (ASN). 2012, San Diego, USA, 2012.11.3

20) Ninchoji T, Kaito H, Nozu K, Nakanishi K, Yoshikawa N, Iijima K. Clinical Characteristics and Mutational Pattern of Genetically-Proven Gitelman's Syndrome. 45th Annual Meeting of the American Society of Nephrology, Nov.1-Nov.4, 2012 in San Diego, USA. JASN 23:437A

21) Taketsugu Hama, Koichi Nakanishi, Hironobu Mukaiyama, Hiroko Togawa, Yuko Shima, Masayasu Miyajima, Hisahide Takahashi, Shizuko Nagao, Kazumoto Iijima, Norishige Yoshikawa. Possible Contribution of Fibrocytes to Renal Fibrosis in Cpk Mouse, a Model of ARPKD. 45th Annual Meeting of the American

22) Society of Nephrology, Nov.1-Nov.4, 2012 in San Diego, USA. JASN 23:596A

23) Shima Y, Nakanishi K, Hama T, Mukaiyama H, Togawa H, Ishimori S, Kaito H, Tanaka R, Iijima K, Yoshikawa N. Histological Predictors of Treatment Efficacy in Severe Childhood IgA Nephropathy (IgAN): Validation of the Oxford Classification of IgAN (Ox C). 45th Annual Meeting of the American Society of Nephrology, Nov.1-Nov.4, 2012 in San Diego, USA. JASN 23:193A

24) Hashimura Y, Nozu K, Kaito H, Ohtsubo H, Hashimoto F, Ishimori S, Ninchoji T, Morisada N, Nakanishi K, Yoshikawa N, Kazumoto Iijima K. Genetical and Clinical Aspects of X-Linked Alport Syndrome in Males with Positive Staining of the alpha5(IV) Chain. 45th Annual Meeting of the American Society of Nephrology, Nov.1-Nov.4, 2012 in San Diego, USA. JASN 23:33A

- 25) Shima Y, Nozu K, Togawa H, Kaito H, Iijima K, Matsuo M, Nakanishi K, Yoshikawa N. Recurrent exercise-induced acute renal failure and PRES with severe renal hypouricemia by compound-heterozygous SLC2A9 mutation. The 7 th Congress of Asian Society for Pediatric Research, Denver, USA, 2011.
- 26) Kamei K, Nakanishi K, Ito S, Saito M, Sako M, Ishikura K, Hataya H, Honda M, Iijima K, Yoshikawa N. Long-term effect of combination therapy in severe childhood IgA nephropathy: randomized, controlled trial. The 1 st Global Congress for Consensus in Pediatrics & Child Health, Paris, France, 2011.
- 27) Hama T, Nakanishi K, Mukaiyama H, Togawa H, Shima Y, Tanaka R, Hamahira K, Kaito H, Iijima K, Yoshikawa N. Renal biopsy criteria in children with asymptomatic constant isolated proteinuria. The 11th Asian Congress of Pediatric Nephrology, Fukuoka, Japan, 2011.
- 28) Hamada R, Hataya H, Sakai T, Matsui Z, Muramatsu M, Satou H, Hamasaki Y, Ishikura K, Shishido S, Honda M. Catch-up growth can be achieved even in children who undergo kidney transplantation at puberty. The 11th Asian Congress of Pediatric Nephrology, 福岡, 2011 年 6 月
- 29) Hashimoto F, Nozu K, Otsubo H, Ishimori S, Hashimura Y, Kaito H, Nakanishi K, Yoshikawa N, Iijima K, Matsuo M. Deep intronic mutations in COL4A5 causes X-linked Alport syndrome. The 11th Asian Congress of Pediatric Nephrology, Fukuoka, Japan, 2011.
- 30) Hashimura Y, Nozu K, Ishimori S, Otsubo H, Hashimoto F, Kaito H, Nakanishi K, Yoshikawa N, Iijima K, Matsuo M. Genotype-phenotype correlation of Japanese X-linked Alport syndrome. The 11th Asian Congress of Pediatric Nephrology, Fukuoka, Japan, 2011.
- 31) Hatano M, Ishikura K, Sakai T, Hamasaki Y, Hataya H, Ogata K, Fukuzawa R, Honda M. Recurrent relapses after complete remission in a child with membranoproliferative glomerulonephritis type . The 11th Asian Congress of Pediatric Nephrology, 福岡, 2011 年 6 月
- 32) Inaba A, Hataya H, Hamasaki Y, Ishikura K, Satoh H, Satomura K, Shishido S, Honda M. Successful renal transplantation in a 4-year girl with renal tubular dysgenesis due to mutations of the angiotensin-converting enzyme gene. The 11th Asian Congress of Pediatric Nephrology, 福岡, 2011 年 6 月
- 33) Kamei K, Nakanishi K, Ito S, Saito M, Sako M, Ishikura K, Hataya H, Honda M, Iijima K, Yoshikawa N. Effectiveness of combination therapy in severe childhood IgA nephropathy: long-term results of a randomized, controlled trial. The 11th Asian Congress of Pediatric Nephrology, 福岡, 2011 年 6 月
- 34) Oka M, Iijima K, Hashimura Y, Ohtsuka Y, Kaito H, Nakanishi K, Yoshikawa N, Nozu K, Matsuo M. Compound heterozygous mutations in COL4A3 or COL4A4 may correlate with a better prognosis in autosomal-recessive Alport syndrome. The 11th Asian Congress of Pediatric Nephrology, Fukuoka, Japan, 2011.
- 35) Saito H, Hine K, Yoshida A, Suzuki J, Ishige M, Nakanishi K, Yan K, Takahashi S. Administration of autologous cord blood stem cell transplantation for the Finnish type congenital nephrotic syndrome. The 11th Asian Congress of Pediatric Nephrology, Fukuoka, Japan, 2011.
- 36) Shima Y, Nakanishi K, Mukaiyama H,

- Hama T, Togawa H, Kaito H, Hashimura Y, Iijima K, Yoshikawa N. Validation of the Oxford classification of IgA nephropathy in children. The 11th Asian Congress of Pediatric Nephrology, Fukuoka, Japan, 2011.
- 37) Takahashi H, Suzuki S, Matsuo K, Tanahashi Y, Hirasawa M, Miyamoto K, Kakizaki H, Nakanishi K, Sasaki S, Morita K. A 9-month female case of congenital nephrotic syndrome with NPHS1 mutation. The 11th Asian Congress of Pediatric Nephrology, Fukuoka, Japan, 2011.
- 38) Yoshida M, Kobayashi Y, Sakai T, Hamasaki Y, Ishikura K, Hataya H, Honda M. IgA nephropathy in a patient with the presence of anti-double stranded-DNA antibodies. The 11th Asian Congress of Pediatric Nephrology, 福岡, 2011 年 6 月
- 39) Yoshizawa C, Ikeuchi Y, Kakegawa S, Kobayashi Y, Watanabe T, Tashiro M, Nakanishi K, Yoshikawa N, Gotoh Y. A case of congenital nephrotic syndrome carrying novel mutation of NPHS1 gene. The 11th Asian Congress of Pediatric Nephrology, Fukuoka, Japan, 2011.
- 40) Mukaiyama H, Nakanishi K, Togawa H, Hama T, Shima Y, Iijima K, Yoshikawa N. NPHS1 gene analysis in Japanese patients with congenital nephrotic syndrome. The 11th Asian Congress of Pediatric Nephrology, Fukuoka, Japan, 2011.
- 41) Ikemiyagi M, Hamasaki Y, Yamada T, Hamada R, Sakai T, Ishikura K, Hataya H, Honda M. Characteristics of eosinophilic peritonitis in 19 children receiving peritoneal dialysis. ASN Kidney week 2011, Philadelphia, 2011 年 11 月
- 42) Mukaiyama H, Nakanishi K, Hama T, Togawa H, Shima Y, Miyajima M, Takahashi H, Nagao S, Iijima K, Yoshikawa N. Acceleration of Smad3 phosphorylation at linker regions via c-Jun NH2-terminal kinase (JNK) in cyst-lining epithelial cells in cpk mouse, a model of ARPKD. 44th Annual Meeting of the American Society of Nephrology, Nov.8-Nov.13, 2011 in Philadelphia, USA.
- 43) Okamoto S, Sakai T, Hamada R, Hamasaki Y, Ishikura K, Hataya H, Honda M. Adequate Kt/V and its practical data in infants receiving peritoneal dialysis. ASN Kidney week 2011, Philadelphia, 2011 年 11 月
- 44) 石倉健司. 疫学研究のすすめ - 小児CKD 全国実態調査から学んだこと -. 第 47 回日本小児腎臓病学会, 東京, 2012 年 6 月
- 45) 石倉健司, 吉川徳茂, 仲里仁史, 佐々木聡, 飯島一誠, 中西浩一, 松山健, 伊藤秀一, 濱崎祐子, 矢田菜穂子, 安藤高志, 本田雅敬. 小児頻回再発ネフローゼ症候群の長期再発傾向: ランダム化比較試験のフォローアップ研究. 第 13 回東京腎炎・ネフローゼ研究会, 東京, 2012 年 7 月
- 46) 石倉健司, 上村治, 伊藤秀一, 和田尚弘, 服部元史, 大橋靖雄, 濱崎祐子, 田中亮二郎, 中西浩一, 本田雅敬. 小児保存期CKD患者の末期腎不全への進行の解明: 小児CKD患者を対象とした患者登録システムの確立と長期予後の解明のための調査研究の結果. 第 34 回日本小児腎不全学会, 兵庫, 2012 年 9 月
- 47) 上村 治, 服部元史, 伊藤秀一, 幡谷浩史, 堤康, 井藤奈央子, 秋澤忠男「日本人小児CKD患者における Darbepoetin alfa 投与時の薬物動態の検討」第 57 回日本透析医学会 . 札幌 2012.06.22
- 48) 上村治 . モーニングレクチャー「日本人小児CKD患者におけるダルベポエチンアルファ治療の実際」第 47 回日本小児腎臓病学会 東京 2012.6.30
- 49) 上村治 . 教育セミナー 「血尿・蛋白尿と腎

- 機能評価」第21回日本小児泌尿器科学会．岡山 2012.7.4
- 50) 上村治．モーニングセミナー「小児慢性腎臓病（CKD）と心血管疾患（CVD）- カルニチン欠乏の関与 - 」第48回日本小児循環器学会．京都 2012.7.7
- 51) 上村治．シンポジウム 血清・尿蛋白の視点から見た腎機能検査のハーモナイゼーションより信頼性の高い測定結果を求めて「小児における腎機能評価の新たな展開」第44回日本臨床検査自動化学会．横浜 2012.10.13
- 52) 上村治．「小児CKD対策—学校検尿の標準化をめざして」日本学校保健学会ランチョンセミナー 名古屋 2011
- 53) 伊藤秀一，荒木義則，稲垣徹史，池住洋平，藤永周一郎，和田尚弘，山田拓司，田中亮二郎，大田敏之，馬場晴久，亀井宏一，齋藤真梨，佐古まゆみ：急性血液浄化療法を行った小児急性腎障害 わが国の実態と予後．第47回日本小児腎臓病学会学術集会，東京，2012.6.29
- 54) 伊藤秀一，荒木義則，稲垣徹史，池住洋平，藤永周一郎，和田尚弘，山田拓司，田中亮二郎，大田敏之，馬場晴久，亀井宏一，齋藤真梨，佐古まゆみ：急性血液浄化療法を行った小児急性腎障害 わが国の実態と予後．第47回日本小児腎臓病学会学術集会，東京，2012.6.29
- 55) 伊藤秀一，石川智朗，藤丸拓也，佐藤舞，小椋雅夫，亀井宏一，河合利尚．関節炎の疑いで紹介され発見された Fabry 病の一男児例．第21回日本小児リウマチ学会総会・学術集会，神戸，2011.10.14
- 56) 伊藤秀一，佐古まゆみ，齋藤真梨，佐藤舞，藤丸拓也，小椋雅夫，亀井宏一．我が国の小児急性血液浄化療法の実態調査．第33回日本小児腎不全学会学術集会，焼津，2011.10.21
- 57) 和田尚弘：第43回全国学校保健・学校医大会，2012
- 58) 和田尚弘：第42回全国学校保健・学校医大会，2011
- 59) 服部元史，小松康弘，伊丹儀友：小児腹膜透析患者に対する Darbepoetin alfa の有効性と安全性に関する検討～多施設共同前向き研究（最終報告）～．第57回日本透析医学会学術集会，2012
- 60) 服部元史，伊丹儀友，小松康弘：小児における慢性血液透析療法導入に際しての留意点と導入基準（案）．第57回日本透析医学会学術集会学会委員会企画3，2012
- 61) 服部元史，松永明，佐古まゆみ，五十嵐徹，伊丹儀友：小児末期腎不全．第57回日本透析医学会学術集会 学会委員会企画7，2012
- 62) 服部元史：CKD-MBD 診療ガイドライン（小児領域）．第23回日本腎性骨症研究会 特別講演，2012
- 63) 服部元史：CKD と成長障害．第42回日本腎臓学会東部学術大会 よくわかる腎臓病シリーズ，2012
- 64) 服部元史：小児急性血液浄化療法の歩みと現況．第12回高知急性血液浄化研究会 特別講演，2012
- 65) 服部元史：小児腎移植の現況とこれから．第47回東海腎不全研究会 特別講演，2012
- 66) 服部元史：小児腎移植 歩みと現況、そしてこれから．第45回日本臨床腎移植学会 会長講演，2012
- 67) 服部元史：腎移植後 FSGS 再発：臨床病理像・病態と治療．第44回近畿小児腎臓病研究会 特別講演，2012
- 68) 服部元史：腎移植後内科・小児科系合併症の診療ガイドライン 2011～とくに腎移植後脂質異常症による移植腎障害の可能性について～．第28回腎移植・血管外科研究会 教育セミナー4 腎移植経
- 69) 服部元史：腎臓小児科医の視点から考える

利尿薬 . 第 14 回東京循環器小児科治療 Agora Key Note Lecture, 2012

70) 服部元史: 小児に対する急性血液浄化療法の歩みと現況,そして実施上のポイント . 第 23 回日本急性血液浄化学会学術集会 モーニングセミナー8, 2012

71) 服部元史、三重野牧子、相川厚、大島伸一、穴戸清一郎、高橋公太、長谷川昭、吉村了男: 日本小児腎移植臨床統計小委員会報告:本邦小児における小児 AOB 血液型不適合腎移植の現況. 第 47 回日本移植学会総会、 2011

72) 服部元史、幡谷裕史、香美祥二、吉川徳茂、本田雅敬: 小児腎臓学会との連携. 第 54 回日本腎臓学会学術総会、 2011

73) 服部元史: 小児透析. 第 56 回日本透析医学会学術集会・総会学会・委員会企画 3 2011 横浜

74) 服部元史: 小児 FSGS 診療の実践的アプローチ. 第 12 回東京腎炎・ネフローゼ研究会ワークショップ 4 2011 東京

75) 服部元史: 小児腎移植の展望. 第 56 回日本透析医学会学術集会・総会ワークショップ 2 2011 横浜

76) 服部元史: 小児腎移植の歩みと現況. 第 359 回日本泌尿器科学会新潟地方会サテライトセミナー 2011 長岡

77) 服部元史: 小児腎不全の治療. 平成 23 年度透析療法従事職員研修 2011 大宮

78) 服部元史: 小児末期腎不全診療の歩みと現況. 第 5 回千葉 CKD 懇話会特別講演 2011 千葉市

79) 服部元史: 小児慢性腎不全診療の現況と課題. 第 56 回日本透析医学会学術集会・総会教育講演 2011 横浜

80) 服部元史: 腎移植後の FSGS 再発の臨床病理とその病態. 札幌腎疾患セミナー特別講演 2011 札幌

81) 服部元史: 長期フォローアップにおける小

児科の役割. 第 76 回日本泌尿器科学会東部総会パネルディスカッション 2011 横浜

82) 濱崎祐子, 幡谷浩史, 濱田陸, 坂井智行, 石倉健司, 本田雅敬, 松井善一, 佐藤裕之, 村松真樹, 穴戸清一郎. フィンランド型先天性ネフローゼ症候群に対する腎移植と予後. 第 45 回日本臨床腎移植学会, 長野, 2012 年 2 月

83) 濱崎祐子, 石倉健司, 原田涼子, 長岡由修, 池宮城雅子, 山田剛史, 濱田陸, 坂井智行, 幡谷浩史, 本田雅敬, 中西浩一, 吉川徳茂. フィンランド型先天性ネフローゼ症候群の腎移植までの管理. 第 47 回日本小児腎臓病学会, 東京, 2012 年 6 月

84) 濱崎祐子, 穴戸清一郎, 濱田陸, 坂井智行, 石倉健司, 幡谷浩史, 中西浩一, 吉川徳茂, 本田雅敬. フィンランド型先天性ネフローゼ症候群の腎移植までの管理. 第 47 回日本小児腎臓病学会 2012, 6, 東京

85) 濱崎祐子. 「小児 CKD 患者は十分な成長を獲得できるか?!-保存期から腎移植まで-」第 47 回日本小児腎臓病学会学術集会 モーニングセミナー . 2012, 6, 東京

86) 濱崎祐子. 「移植腎の内科的管理」 Yokohama Renal Transplantation Academy, 2012, 7, 横浜

87) 濱崎祐子, 上村治, 伊藤秀一, 和田尚弘, 服部元史, 大橋靖雄, 石倉健司, 本田雅敬, 田中亮二郎, 中西浩一. 本邦小児保存期慢性腎臓病患者における成長の実態 (2011 年度調査の結果). 第 34 回日本小児腎不全学会, 兵庫, 2012 年 9 月

88) 濱崎祐子, 上村治, 石倉健司, 伊藤秀一, 服部元史, 田中亮二郎, 和田尚弘, 大橋靖雄, 中西浩一, 金子徹治, 本田雅敬. 「本邦小児保存期慢性腎臓病患者における成長の実態 (2011 年度調査の結果)」. 第 34 回日本小児腎不全学会学術集会 2012, 9, 淡路島

89) 濱崎祐子. 「小児慢性腎臓病 (CKD) の管理と腎移植」神奈川県学校・腎疾患管理研究会 平成 24 年度総会・第 38 回研究会, 2012, 9, 横浜

- 90) 濱崎祐子. 「小児慢性腎臓病患者に対する低カリウム中リンミルクの必要性」. 第1回特殊ミルク安定供給のためのワークショップ 2012.11, 東京
- 91) 本田雅敬. 「学校検尿のすべて」の改訂について. 第47回日本小児腎臓病学会, 東京, 2012
- 92) 本田雅敬. CKDと成育医療. 第5回若手小児腎臓医のためのパワーアップセミナー, 東京, 2012
- 93) 本田雅敬. こどもの腎臓病について. 慢性腎臓病 CKD【Chronic Kidney Disease】シンポジウム 厚生労働省・腎疾患対策, 東京, 2012
- 94) 本田雅敬. 小児CKD患者の移行医療. 第34回日本小児腎不全学会, 兵庫, 2012
- 95) 本田雅敬. 小児腎臓病から見た小児SLE治療. 第22回日本リウマチ学会, 愛知, 2012
- 96) 本田雅敬. 新学校検尿の手引き. 平成24年度九州学校検診協議会, 福岡, 2012
- 97) 中西浩一: エビデンスに基づく小児腎臓病治療を目指して~JSKDCの歩み~ 第5回宮城小児腎・泌尿器研究会 2012年5月25日 仙台
- 98) 中西浩一: エビデンスに基づく小児腎臓病治療を目指して 第52回新潟腎臓懇話会 2012年6月14日 新潟
- 99) 中西浩一: 織毛病 プロフェッショナル-5 第47回日本小児腎臓病学会学術集会 2012年6月29~30日 東京
- 100) 中西浩一: 日本医学会「医療における遺伝学的検査・診断に関するガイドライン」について 学会主導企画2 第47回日本小児腎臓病学会学術集会 2012年6月29~30日 東京
- 101) 中西浩一: ARPKDの病態・遺伝子診断 シンポジウム2 小児嚢胞性腎疾患の病因・病態の解明と診断・治療の進歩 座長兼任 第34回日本小児腎不全学会学術集会 2012年9月13~14日 洲本(兵庫県・淡路島)
- 102) 中西浩一: エビデンスに基づく小児腎臓病治療 Chiba Pediatric Nephrology Forum 2012年10月18日 千葉
- 103) 中西浩一: 遺伝性ネフローゼ症候群と多発性嚢胞腎 第22回北海道小児腎臓病研究会 2012年10月20日 札幌
- 104) 中西浩一: アルポート症候群と多発性嚢胞腎 第11回弘前小児腎疾患フォーラム 2012年10月26日 弘前
- 105) 中西浩一: 小児腎疾患のエビデンスに基づく治療 <教育講演1> 第2回中堅医のための小児腎臓勉強会 2011年2月11日 大阪
- 106) 中西浩一: 小児におけるADPKDの実態 <シンポジウム> 市民公開シンポジウムADPKD-次の世代を考える- 2011年2月20日 東京
- 107) 中西浩一: 小児特発性ネフローゼ症候群治療の現状と展望 <ランチョンセミナー> 近畿小児科学会 2011年3月13日 神戸
- 108) 中西浩一: 初発寛解後早期に再発する小児ステロイド感受性ネフローゼ症候群患者を対象とした標準治療(再発時プレドニゾロン治療)と標準治療+高用量ミゾリピン併用治療の多施設共同オープンランダム化比較試験(JSKDC05) ~頻回再発抑制をめざして~ <特別講演> 第11回小児腎臓薬物動態研究会 2011年7月9日 名古屋
- 109) 中西浩一: エビデンスに基づく小児ネフローゼ症候群治療 <特別講演> 京滋小児ネフローゼ症候群講演会 2011年7月16日 京都
- 110) 中西浩一: 小児における多発性嚢胞腎 <講演> PKDの会第11回関西座談会 2011年11月20日 大阪
- 111) 中西浩一: エビデンスに基づく小児腎臓病治療をめざして <特別講演> 第9回腎と免疫フォーラム 2011年11月29日 広島
- 112) 山田剛史, 幡谷浩史, 原田涼子, 長岡由修, 池宮城雅子, 濱田陸, 坂井智行, 濱崎祐子, 石倉健司, 本田雅敬, 福澤龍二, 緒方謙太郎. 新生児期より蛋白尿, 腎機能障害を認め, 生検にて分節

性硬化を伴う膜性増殖性糸球体腎炎 (MPGN) 様の病理像を示した 1 例. 第 78 回関東小児腎臓研究会, 東京, 2012 年 1 月

113) 佐藤舞, 岡田麻理, 宮園明典, 藤丸拓也, 小椋雅夫, 亀井宏一, 伊藤秀一: Ⅰ型コラーゲン 5 染色で染色を認めた X 連鎖性 Alport 症候群の男児例. 第 79 回関東小児腎臓研究会, 東京, 2013.1.19

114) 藤丸拓也, 岡田麻理, 宮園明典, 佐藤舞, 小椋雅夫, 亀井宏一, 伊藤秀一, 宮下健悟, 堀川玲子, 田中秀明, 笠原群生, 松岡健太郎: メチルマロン酸血症に対する ABO 不適合生体腎移植の 1 例. 第 46 回日本臨床腎移植学会, 浦安, 2013.1.31

115) 濱田陸, 幡谷浩史, 坂井智行, 濱崎祐子, 石倉健司, 本田雅敬, 松井善一, 佐藤裕之, 村松真樹, 穴戸新一郎. 思春期早期腎移植における成長 catch-up の獲得. 第 45 回日本臨床腎移植学会, 長野, 2012 年 2 月

116) 長岡由修, 濱田陸, 坂井智行, 濱崎祐子, 石倉健司, 幡谷浩史, 本田雅敬, 三浦大, 福澤龍二, 上牧勇. 心タンポナーデを契機に診断した全身性エリテマトーデスの 2 例. 第 115 回日本小児科学会, 福岡, 2012 年 4 月

117) 三上直朗, 石倉健司, 濱田陸, 坂井智行, 濱崎祐子, 幡谷浩史, 吉田雅治, 本田雅敬. 抗糸球体基底膜抗体腎炎の 2 症例. 第 115 回日本小児科学会, 福岡, 2012 年 4 月

118) 佐藤舞, 岡田麻理, 宮園明典, 藤丸拓也, 小椋雅夫, 亀井宏一, 伊藤秀一: リツキシマブ投与後に非典型的な *Pneumocystis jirovecii* 肺炎を発症したステロイド抵抗性ネフローゼ症候群の一例. 第 87 回日本感染症学会総会, 長崎, 2012.4.25

119) 宮園明典, 藤丸拓也, 佐藤舞, 石川智朗, 小椋雅夫, 亀井宏一, 伊藤秀一. ステロイド, シクロスポリン抵抗性の全身型若年性特発性関節炎への血漿交換と白血球吸着療法併用による寛解

導入の試み. 第 2 回東日本 JIA 研究会, 東京, 2012.05.19

120) 濱田陸, 幡谷浩史, 坂井智行, 濱崎祐子, 石倉健司, 本田雅敬, 松井善一, 佐藤裕之, 村松真樹, 穴戸清一郎. 思春期前腎移植患児の二次性徴・思春期成長. 第 47 回日本小児腎臓病学会, 東京, 2012 年 6 月

121) 後藤美和, 二宮誠, 上村治, 松山健, 伊藤雄平, 幡谷浩史, 伊藤秀一, 山川聡, 石川智朗, 本田雅敬. 小児腎疾患患者に対する運動制限についてのアンケート調査. 第 47 回日本小児腎臓病学会, 東京, 2012

122) 長岡由修, 坂井智行, 濱田陸, 原田涼子, 池宮城雅子, 山田剛史, 濱崎祐子, 石倉健司, 幡谷浩史, 本田雅敬. 小児特発性ネフローゼ症候群に合併する急性腎障害 (NS-AKI) の特徴. 第 47 回日本小児腎臓病学会, 東京, 2012 年 6 月

123) 池宮城雅子, 幡谷浩史, 原田涼子, 長岡由修, 山田剛史, 濱田陸, 坂井智行, 濱崎祐子, 石倉健司, 本田雅敬. 腎性尿崩症として管理された若年性ネフロン癆の一例. 第 47 回日本小児腎臓病学会, 東京, 2012 年 6 月

124) 原田涼子, 濱田陸, 長岡由修, 坂井智行, 池宮城雅子, 山田剛史, 濱崎祐子, 石倉健司, 幡谷浩史, 本田雅敬, 堀越裕歩. 寛解導入療法中 *Clostridium difficile* 関連腸炎を発症した MPO-ANCA 陽性急速進行性糸球体腎炎の女児例. 第 47 回日本小児腎臓病学会, 東京, 2012 年 6 月

125) 三上直朗, 濱崎祐子, 池宮城雅子, 山田剛史, 濱田陸, 坂井智行, 石倉健司, 幡谷浩史, 緒方謙太郎, 福澤龍二, 本田雅敬. 乳児期に発症し尿細管基底膜にも沈着を示した膜性腎症の 1 例. 第 47 回日本小児腎臓病学会, 東京, 2012 年 6 月

126) 小牧文代, 坂井智行, 石倉健司, 原田涼子, 長岡由修, 池宮城雅子, 山田剛史, 濱田陸, 濱崎祐子, 幡谷浩史, 本田雅敬. 腎血管筋脂肪腫に対し, 腎動脈塞栓術を要した結節性硬化症の一例. 第

- 47 回日本小児腎臓病学会, 東京, 2012 年 6 月
- 127) 寺野千香子, 石倉健司, 原田涼子, 長岡由修, 池宮城雅子, 山田剛史, 濱田陸, 坂井智行, 濱崎祐子, 幡谷浩史, 本田雅敬, 三浦大. 心不全に対するアンギオテンシン変換酵素阻害薬/アンギオテンシン II 受容体拮抗薬治療中の急性腎傷害. 第 47 回日本小児腎臓病学会, 東京, 2012 年 6 月
- 128) 坂井智行, 石倉健司, 原田涼子, 長岡由修, 池宮城雅子, 山田剛史, 濱田陸, 濱崎祐子, 幡谷浩史, 本田雅敬, 安藤高志. 小児特発性ネフローゼ症候群患児における副腎皮質ステロイドの副作用は身長より骨密度への影響が大きい. 第 47 回日本小児腎臓病学会, 東京, 2012 年 6 月
- 129) 永井琢人, 上村治, 石倉健司, 伊藤秀一, 幡谷浩史, 秋岡祐子, 後藤芳充, 山田拓司, 本田雅敬, 小児慢性腎臓病対策委員会. 日本人小児の推算 GFR 式 (2 歳以上 12 歳未満). 第 47 回日本小児腎臓病学会, 東京, 2012 年 6 月
- 130) 大福陽子, 竹鼻ゆかり, 朝倉隆司, 亀井宏一, 小椋雅夫, 伊藤秀一: ネフローゼ症候群の子どもの学校生活の現状と満足感に影響を及ぼす要因. 第 47 回日本小児腎臓病学会学術集会, 東京, 2012.6.29
- 131) 山川聡, 上村治, 永井琢人, 二宮誠, 石川智朗, 後藤美和, 本田雅敬. 慢性腎臓病 (CKD) への運動制限のエビデンス. 第 47 回日本小児腎臓病学会, 東京, 2012.6.29
- 132) 亀井宏一, 宮園明典, 佐藤舞, 石川智朗, 藤丸拓也, 小椋雅夫, 伊藤秀一: リツキシマブ療法を施行したステロイド依存性ネフローゼ症候群の長期予後とその後の再発に寄与する因子の検討 (日本小児腎臓病学会奨励賞). 第 47 回日本小児腎臓学会学術総会, 東京, 2012.6.29
- 133) 岡田麻理, 大森多恵, 杉原麻理恵, 西口康介, 福原淳示, 玉木久光, 伊藤昌弘, 三澤正弘, 大塚正弘, 中村明枝, 田島敏広: 臨床経過より全身型が疑われたが, 遺伝子検査にて腎型と診断した偽性低アルドステロン症 型の一例. 第 47 回日本小児腎臓病学会, 東京, 2012.6.30
- 134) 石川智朗, 宮園明典, 佐藤舞, 藤丸拓也, 小椋雅夫, 亀井宏一, 阿部淳, 伊藤秀一: エルニシア間質性腎炎の診断における抗 YPM 抗体の有効性. 第 47 回日本小児腎臓病学会学術集会, 東京, 2012.6.30
- 135) 小椋雅夫, 亀井宏一, 宮園明典, 佐藤舞, 藤丸拓也, 石川智朗, 松岡健太郎, 伊藤秀一: チアノーゼ性腎症における HIF(hypoxia inducible factor)-1 染色の検討. 第 47 回日本小児腎臓病学会学術集会, 東京, 2012.6.30
- 136) 亀井宏一, 宮園明典, 佐藤舞, 石川智朗, 藤丸拓也, 小椋雅夫, 伊藤秀一: リツキシマブ療法を施行したステロイド依存性ネフローゼ症候群の長期予後の検討 (日本腎臓学会優秀演題賞). 第 55 回日本腎臓学会学術総会, 横浜, 2012.6.3,
- 137) 山田剛史, 幡谷浩史, 原田涼子, 長岡由修, 池宮城雅子, 濱田陸, 坂井智行, 濱崎祐子, 石倉健司, 本田雅敬. ムピロシン鼻腔用軟膏の出口部塗布は, 小児の黄色ブドウ球菌出口部感染を予防する. 第 55 回日本腎臓学会, 横浜, 2012 年 6 月
- 138) 長岡由修, 坂井智行, 濱田陸, 原田涼子, 池宮城雅子, 山田剛史, 濱崎祐子, 石倉健司, 幡谷浩史, 本田雅敬. 小児ネフローゼ症候群では循環血漿量保持型の急性腎障害が多い. 第 55 回日本腎臓学会, 神奈川, 2012 年 6 月
- 139) 亀井宏一, 宮園明典, 佐藤舞, 石川智朗, 藤丸拓也, 小椋雅夫, 伊藤秀一: リツキシマブ療法を施行したステロイド抵抗性ネフローゼ症候群の臨床的検討. 第 55 回日本腎臓学会学術総会, 横浜, 2012.6.3,
- 140) 佐藤 舞, 岡田麻理, 宮園明典, 藤丸拓也, 小椋雅夫, 亀井宏一, 伊藤秀一: 急性腎傷害から回復することなく末期腎不全に移行した乳児の 2 例, 第 57 回日本透析医学会学術集会・総会 札幌, 2012.6.24
- 141) 亀井宏一, 石川智朗, 伊藤秀一: 肝芽腫に

対しカルボプラチン投与を行った慢性腎不全の
1 歳男児例. 第 57 回日本透析医学会学術集会,
札幌, 2012.6.22

142) 亀井宏一: 多剤併用療法を施行した小児
重症 IgA 腎症の長期予後. 第 22 回小児 IgA 腎
症治療研究会シンポジウム, 東京, 2012.6.28

143) 佐藤 舞, 岡田麻理, 宮園明典, 藤丸拓也,
小椋雅夫, 亀井宏一, 伊藤秀一: リツキシマブ
投与後に非典型的な Pneumocystis jirovecii 肺炎
を発症したステロイド抵抗性ネフローゼ症候群
の一例. 第 47 回小児腎臓病学会学術集会, 東京,
2012.6.29

144) 亀井宏一, 宮園明典, 佐藤舞, 石川智朗, 藤
丸拓也, 小椋雅夫, 伊藤秀一: リツキシマブ療
法を施行したステロイド抵抗性ネフローゼ症候
群の臨床的検討. 第 47 回日本小児腎臓学会学術
総会, 東京, 2012.6.29

145) 宮園明典, 米田祐梨子, 才津浩智, 藤丸拓也,
佐藤舞, 石川智朗, 小椋雅夫, 亀井宏一, 松本直
通, 伊藤秀一. ARPKD と診断された 32 症例に
おける臨床経過と遺伝子学的な検討. 第 47 回小
児腎臓病学会学術集会, 東京, 2012.06.30

146) 原田知典, 稲葉彩, 増澤祐子, 小川真喜
子, 大杉康司, 森雅亮, 伊藤秀一:
MPO-ANCA/PR3-ANCA 関連血管炎に対する現
行治療指針の有用性および寛解維持におけるミ
ゾリピンの有用性の検討. 第 47 回日本小児腎臓
病学会学術集会, 東京, 2012.6.30

147) 奥田雄介, 濱田陸, 篠塚俊介, 長谷幸治,
寺野千香子, 原田涼子, 長岡由修, 坂井智行, 板
橋淑裕, 佐藤裕之, 石倉健司, 幡谷浩史, 本田雅
敬. 著明な電解質異常を契機に発見された片側
性完全重複腎盂尿管症の 1 例. お茶の水腎カンフ
ァレンス, 東京, 2012 年 7 月

148) 小椋雅夫, 岡田麻里, 宮園明典, 佐藤舞,
藤丸拓也, 亀井宏一, 田中秀明, 松岡健太郎, 伊
藤秀一: 長期留置型 CV カテーテル感染に合併し
た腎炎の 1 例. お茶の水腎カンファレンス, 東京,

2012.7.20

149) 寺野千香子, 石倉健司, 奥田雄介, 篠塚俊
介, 長谷幸治, 長岡由修, 濱田陸, 坂井智行, 幡
谷浩史, 本田雅敬, 三浦大. 心不全に対するアン
ギオテンシン変換酵素阻害薬・アンギオテンシン
受容体拮抗薬治療中の急性腎傷害. 第 34 回日
本小児体液研究会, 東京, 2012 年 8 月

150) 奥田雄介, 濱田陸, 篠塚俊介, 長谷幸治,
寺野千香子, 原田涼子, 長岡由修, 坂井智行, 板
橋淑裕, 佐藤裕之, 石倉健司, 幡谷浩史, 本田雅
敬. 著明な電解質異常を契機に発見された片側
性完全重複腎盂尿管症の 1 例. 第 34 回日本小児
体液研究会, 東京, 2012 年 8 月

151) 岡田麻理, 宮園明典, 佐藤舞, 藤丸拓也,
小椋雅夫, 亀井宏一, 伊藤秀一, 宇田川智宏,
元吉八重子: 左腎動脈瘤による腎血管性高血圧
を認め内科的治療が奏功した一例. 第 19 回小児
高血圧研究会, 東京, 2012.8.25

152) 寺野千香子, 坂井智行, 長谷幸治, 篠塚俊
介, 奥田雄介, 原田涼子, 長岡由修, 濱田陸, 石
倉健司, 幡谷浩史, 本田雅敬, 笠原群生. 固有腎
機能維持を目的に先行的肝移植を行った原発性
高尿酸血症の 10 歳女児. 第 34 回日本小児腎不全
学会, 兵庫, 2012 年 9 月

153) 板橋淑裕, 佐藤裕之, 松井善一, 坂井幸子,
青木裕次郎, 本田雅敬, 幡谷浩史, 石倉健司, 坂
井智行, 宍戸清一郎. 腹膜透析管理されていた患
児における生体腎移植後の体重変化の検討. 第
34 回日本小児腎不全学会, 兵庫, 2012 年 9 月

154) 亀井宏一, 宮園明典, 佐藤舞, 石川智朗, 藤
丸拓也, 小椋雅夫, 伊藤秀一: ロタウイルス腸
炎後に急性腎不全となった遺伝性低尿酸血症の
男児例. 第 34 回日本小児腎不全学会, 淡路島,
2012.9.13

155) 藤丸拓也, 岡田麻理, 宮園明典, 佐藤舞,
小椋雅夫, 亀井宏一, 伊藤秀一, 宮下健悟, 堀川
玲子, 田中秀明, 笠原群生, 松岡健太郎: メチ
ルマロン酸血症に対する ABO 不適合生体腎移植

の1例(優秀演題賞:腎移植部門). 第34回日本小児腎不全学会学術集会, 淡路島,2012.9.13

156) 藤原忠美, 笹部雅男, 土橋卓也, 賀藤均, 伊藤秀一, 本田雅敬, 中西敏雄: アムロジピンの小児使用の実態調査結果. 第35回日本高血圧学会総会, 名古屋, 2012.9.20

157) 田中秀明, 淵本康史, 金森豊, 小椋雅夫, 亀井宏一, 伊藤秀一, 阪本靖介, 笠原群生: 当センターにおける腎移植の経験. 第48回日本腎移植学会, 名古屋, 2012.9.22

158) 宮園明典, 藤丸拓也, 佐藤舞, 石川智朗, 小椋雅夫, 亀井宏一, 河合利尚, 伊藤秀一. 血漿交換と白血球吸着療法を行ってからトシリズマブを投与し寛解した全身型若年性特発性関節炎の男児例. 第22回日本小児リウマチ学会総会・学術集会, 名古屋市, 2012.10.5

159) 藤丸拓也, 岡田麻理, 宮園明典, 佐藤舞, 小椋雅夫, 亀井宏一, 伊藤秀一, 田中秀明: 小児における長期留置型血液透析カテーテルの使用状況 ~当院10年間の検討~. 第16回日本アクセス研究会学術集会・総会, 名古屋, 2012.10.14

160) 藤丸拓也, 岡田麻理, 宮園明典, 佐藤舞, 小椋雅夫, 亀井宏一, 伊藤秀一, 松岡健太郎: 出生時から無尿で治療抵抗性の低血圧が持続したPotter症候群の1例. お茶の水カンファレンス, 東京, 2012.10.19

161) 藤丸拓也, 岡田麻理, 宮園明典, 佐藤舞, 小椋雅夫, 亀井宏一, 伊藤秀一, 田中秀明: 小児における長期留置型血液透析カテーテルの使用状況 ~当院10年間の検討~. 第26回日本小児PD・HD研究会, 大阪, 2012.11.17

H. 知的財産権の出願・登録状況

なし